

城取博幸の

神奈川、四国4県のスーパーマーケット見聞録と日本の近代史の研究

NO 131

2019年7、9月

城取フードサービス研究所

城取 博幸

神奈川県 浦賀

7月は「日本人が関係した世界史 国内編」です

6月末に久里浜の「ペリー記念館」に行ってきました

当時アジアで唯一の独立国 日本

1853年、歴史の教科書では「アメリカ使節ペリーが浦賀に来航」とありますが、
実際は「久里浜」でした

日本の歴史が大きく変わった事件



京急久里浜駅 グーグルで検索 徒歩 17分



17分 (1.4km)

駅前から長い行列は何？



ラーメン屋のオープンであった それにいても日本人は行列が好きだ
 「逗子家」相当な人気
 久里浜海岸に到着
 梅雨の時期で天気は曇り



この通りは「ペリー通り」
 海外で言われる「エスプラネード」だが寂しい
 「ペリー上陸記念碑」と「ペリー記念館」



ペリー公園 ペリー公園案内図



「ペリー上陸記念碑」

1901年、米友協会が建立 100年以上経っている

刻まれている文字は、初代内閣総理大臣「伊藤博文」によるもの



ペリー艦隊は、アメリカ ノーフォーク⇒マデイラ島⇒ケープタウン⇒セイロン⇒シンガポール⇒マカオ⇒香港⇒上海⇒沖縄⇒浦賀

沖縄から捕鯨基地確保のため小笠原諸島にも寄港している

先月旅行したマデイラ島のペリーが寄港していたことは知らなかった

日本以外アジアの国々には自由に寄港できた 最後の砦が日本であった



裏側の英文

「ペリー記念館」

入場は無料 写真撮影可



入口のペリーの像

正面を入ると、久里浜とペリーの船のジオラマ



アメリカ 東インド艦隊 4 隻

蒸気船 2 隻 帆走軍艦 2 隻

目的は、アメリカ大統領の親書を日本の皇帝に渡すことであった

ペリーが乗船していた「サスケハナ号」

語源はネイティブアメリカンから取っているらしい

学芸員の話によると「外洋では蒸気船よりも帆船の方が早かったらしい」

それだけ重量があった



2 階の展示室

展示物



欧米諸国はアジアに工業原料を求め、そして自国で生産した商品売り込むことが目的

江戸幕府は浦賀奉行に任せきりで動かなかった



使節応接役 浦賀奉行

「戸田伊豆守氏栄(とだ・いずみのかみ・うじよし)」 1799～1858年

おもしろい話

当時、日本には「オランダ語」は話せても、「英語」を話せる者はいなかった

ペリーの艦隊が久里浜に近づくと、「ただちに退去せよ」というフランス語で書かれた横断幕を示した

ペリー側はなんの反応もなし

日本は鎖国をしていたため、海外のことに関しては無知であった

逆に欧米諸国も日本のことは知らなかった

しかし、日本の文化水準は高く、識字率は世界ナンバーワンであった



ペリー上陸

江戸幕府は米大統領フィルモアの親書を受け取るため応接所を建てた

しかし、英語を話せる者がいない

奉行所与力の「中島三郎助」が、通詞の「堀江辰之助」を伴ってサスケハナ号に乗車

堀江が「私はオランダ語が話せます」と英語で話しかける

これが、日本人が公式の場で使用した最初の「英語」

後で調べると、実は船底に日本人が乗っていた

その後、「ジョン万次郎」が登場するが、英語からオランダ語、日本語へと通訳された

ジョン万次郎(中浜万次郎)は、その後アメリカのスパイではないかと疑われた

有名な絵

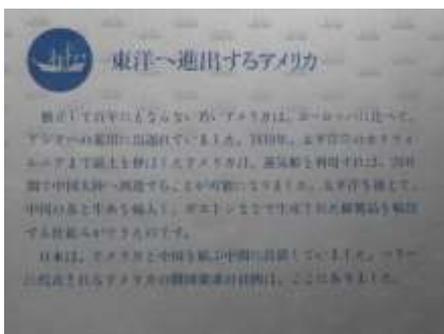


東洋に進出するアメリカ

1814年 アメリカは太平洋岸のカルフォルニアまで領土を伸ばした

蒸気船を使えば 20 日間で中国大陸に到達できた

中国のお茶と生糸を輸入し、ボストンで生産される綿製品を輸出する目的があった



ペリーの外交術

ペリーは大統領の親書の返事を直ちに要求しなかったが、再来日のために江戸湾の測量を行った

た

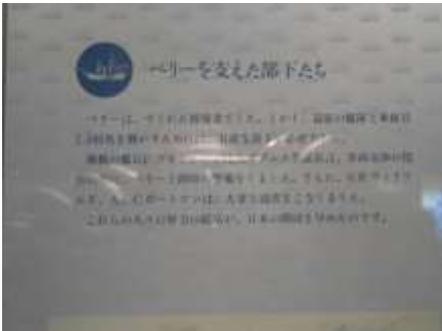
三浦半島のジオラマ



ペリーのボタン

ペリーを支えた部下たち

オランダ語を話せる部下が2名いたため交渉は順調に進んだ



当時のアジアの図

「蒸気船」が日本に伝わった



「蒸気機関車」も

「灯台」も



日本は近代化へと向かう

学芸員から「ツアーの下見ですか？」と尋ねられる

そう見えたのであろう

「開国史研究」という本を買ったら、おまけに「ペリーと横須賀」の日本語小冊子をくれた

久里浜海岸

当時の絵



ペリー上陸の碑を描いた絵図

1854年 横浜応接所の図(ハイネ画)



今の久里浜海岸

じょうきせんの碑

入口を入って左側にこんな記念碑がある

お茶屋さんの「上喜撰(じょうきせん)」というお茶の銘柄

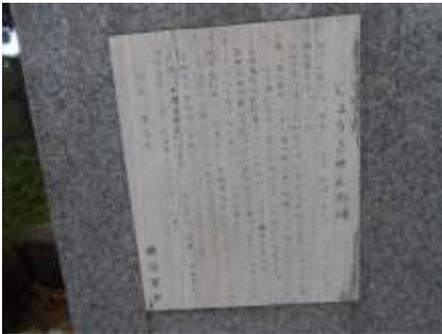


「泰平の ねむりを さます じょうきせん たった四はいで 夜も 寝られず」

「お茶を 4 杯飲んだら寝られなくなった」

「蒸気船が 4 隻来たら大騒ぎで眠れなくなった」

という驚きを端的に表現した落首



海岸前の食堂街



黒船食堂

趣があるがメニューが一般的

三崎マグロ 海鮮地魚 次郎

また開店と同時に入店



品書き鮮魚を中心にした料理

アジ、マグロが主なネタ

外の景色

名物「海鮮丼」 1500 円を注文

「ごはんは白飯ですか、酢飯ですか？」とまた余計なことを聞いてしまった
「酢飯です」と答えてくれた
別にどちらでもよかったが



カウンター席

元はカフェではなかったか

ボートハウスのような雰囲気

土地柄か夏の海水浴のシーズンには大繁盛だろう

ティッシュ

抜群の立地



海鮮丼 味噌汁付きができた

海鮮丼とサザエのつぼ焼き アラ汁

丼はそれほど大きくないが、うまく盛り付けてある



マグロ、サーモン、アジ、マグロタタキ

酢飯は温かいが、酢合わせしたばかりなので、飯に酢がまだなじんでいない
それでもシャリが温かくおいしかった

アラ汁



甘エビの頭

あまり色々な魚を入れると雑味と臭いが気になるが、シンプルな味でおいしい
サザエのつぼ焼きこれはサービスでつけてくれた

ありがとうございました「早起きは三文の得」



EMPTY DISHES

ご馳走様でした

駅に歩いて戻る



途中のヨークマート

まだ新しいようだ 600 坪以上ありそうなスーパーマーケット

特徴は、PB 商品と NB 商品の品揃え 絞り込まれているためあまり面白い商品はない
地元商品の品揃えも少ない 三崎のマグロと焼肉セットに力を入れて販売していた



購入商品 近くの「ヤマダ電気」と「京急ストア」

ここは古いショッピングセンター



京急ストア

ここも、PBとNB商品中心の品揃え中はユニークな売場づくり

壁面の冷蔵ケースは加工食品が主で、生鮮食品、惣菜は平ケースで販売

平ケースは覗きこまないと見えないが、多段ケースは自然と商品が目に入るのになあ

ヨークマートの影響がありそうだ

7月「日本人が関係した世界史 国内編」の特集の一環

神奈川県横須賀の「記念艦 三笠」

ペリー来航から日露戦争までの研究

なぜ日露戦争は起きたのか？

時代的背景

1. 列強のアジア進出

19世紀、日本以外のアジアの国は列強の国々に支配されていた

清国も「アヘン戦争」に敗れイギリスの租借地となり国力が弱まった

ロシアは「義和団の乱」に乗じて満州を占拠

朝鮮半島にも南下を開始し領土拡大を企てた

なぜ、ロシアは南下し始めたのか？

それは、「不凍港の獲得」と「農作物の不作による農地確保」

2. 「日清戦争」と「三国干渉」

ロシアは朝鮮まで南下してきているが、清国はそれを防げなかった

朝鮮は自国の属国と主張する清国と日本との戦争

日本が圧勝し「下関条約」で、台湾、遼東半島割譲、賠償金の支払いなどが決定

「三国干渉」ロシア、ドイツ、フランスが清国に返還するように迫った

ロシアは三国干渉後、朝鮮に支配地域を拡大した

3. 「日英同盟」

1902年、「日本の独立を保ち、国益を守るため」英国と同盟を結んだ



日露戦争

ロシアの朝鮮進出に危機感を強めた日本は、1904年、ロシアとの国交断絶を通告し、日露戦争が始まる

「戦艦三笠」ハード編

日露戦争 日本海海戦で活躍したイギリス製の旗艦

1961年 戦艦から記念艦へ

「戦後、廃艦になった三笠を記念艦として保存すべし」という声が高まった

日本の「三笠」、イギリスの「ヴィクトリー」、アメリカの「コンスティテューション」は世界の三大記念艦

コンスティテューションはアメリカボストンの港に展示されている現役の戦艦(ボストン特集で紹介した)

アメリカの「チェスター・ミニッツ元太平洋艦隊元司令官」、アメリカ軍の協力で1961年、復元された

ミニッツは、日本海海戦の勝因を徹底的に研究し、「東郷平八郎司令長官」を尊敬していた

京急横須賀中央駅



1. 1km 歩いて14分



14分 (1.1km)

三笠公園



案内図

戦艦三笠と東郷平八郎像

三笠は1902年、イギリスのヴィッカーズ造船所で建造された東郷平八郎司令官の連合艦隊の旗艦として勇敢に戦った

その後、佐世保に入港した際、火薬庫が爆発して沈没
引き上げ、修理後第一線に復帰



「皇国の興廢この一戦にあり」
この一戦が日本の将来を左右するという意味
猿島要塞に向かうフェリー
ここはまたの機会にする



船尾

長官専用のスタンウォーク(回廊)



三笠の概要
見取り図



甲板



通信室



だれでも触れられ「ツーツー」と音が出るようになっている

30センチ主砲



船頭と船尾に2門ずつ配備

8センチ補助砲と15センチ副砲

艦から突き出している砲筒は15センチ砲



15センチ副砲発射室

夜はハンモックを張って寝室に



8センチ補助砲

最上甲板 下は海図室



木造部分の操舵室

そのすぐ下にはコンクリートで囲まれた操舵室



内部は上部と同じ構造 これだけの厚さで防御されている



最上部の艦橋 船の方向は皇居に向いている

有名な絵 白い布製のものはハンモック



人の配置図

「東郷平八郎」と書かれている



「秋山真之(あきやまさねゆき)」

機雷 水雷艇による攻撃はかなりの効果があった



機雷からつくられたオブジェ

階段で下に降りる

船尾は居住部分

長官室



専用キッチン

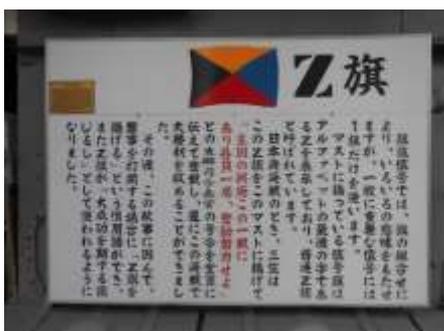
専用バスルーム



士官室

Z旗

日本海海戦の時、三笠はこの旗をマストに掲げて
「皇国の興廃この一戦にあり、各員一層、奮闘努力せよ」
という号令を全艦に伝えた



その後、「大成功を期する旗じるし」として使われるようになった
次回は「戦艦三笠」に係わった人々について
記念艦「三笠」人物編 三笠艦橋図



中央が海軍司令長官「東郷平八郎」、左「参謀長少尉 加藤又三郎」、右「参謀中佐 秋山真之 (あきやまさねゆき)」



三笠艦橋図内の人々

記念艦「三笠」資料展示室

甲板から階段で下に降りると展示室



艦内説明図

三笠の船首飾りの菊花紋



これはレプリカ

甲板から上はすべてレプリカであるため壁は薄い

日露戦争と人々



山本権兵衛(1852年～)

鹿児島生まれ 薩英戦争、戊辰戦争に従軍

日本海軍を世界一流に育て上げた「海軍の父」

前任序列を無視して「東郷平八郎中将」を「連合艦隊司令長官」に抜擢

東郷平八郎(1847年～)

鹿児島生まれ 薩英戦争、戊辰戦争に従軍

バルチック艦隊を迎撃し勝利

敵前大回頭(T字作戦)は「トーゴークターン」と呼ばれ、大東亜戦争でミッツもこれを採用した



有名な言葉(前に紹介)

大山 巖(おおやまいわお) 1842年～

鹿児島生まれ 日露戦争では満州軍総司令官 奉天会戦に勝利

西郷隆盛の従弟



小村寿太郎(1855年～)

宮崎県生まれ 日露戦争では外務大臣として「ポースマス会議」に出席し「日露講和条約」の締結の貢献した

金子堅太郎(1853年～)

福岡生まれ 明治憲法の草案者

伊藤内閣では司法相を歴任

ハーバード大学ではルーズベルトとの親交を通じ、日露の早期講和に尽力した

秋山真之(1868年～)

愛媛松山生まれ

日露戦争では連合艦隊作戦主任参謀

「天気晴朗ナレドモ波高シ」の電文や、「連合艦隊解散の辞」は秋山の起案



秋山真之の銅像

広瀬武夫(1868年～)

大分生まれ

旅順港閉塞作戦で「福井丸」を自沈させた

離艦の際、部下を艦内で探したが見いつからず、その後戦死



秋山好古(あきやまよしふる) 1859年～

愛媛県松山生まれ 秋山真之の兄

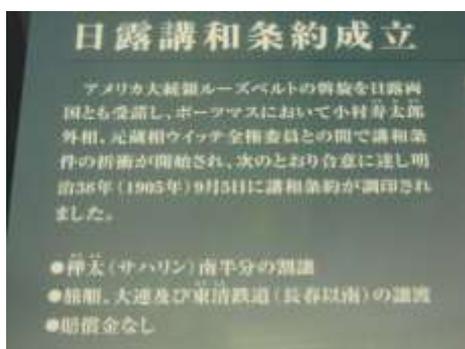
日露戦争では歩第一旅団長として奮戦 奉天会戦に勝利し「歩兵の父」と呼ばれた

退官後は、北予中学校長(現松山北高校)として青少年の教育に尽力

殆どが鹿児島、大分出身
戊辰戦争を経験した者たちであった
敵将ロジェストウェンスキー提督を見舞う



ロシア皇帝と海軍首脳部
左上からロシア皇帝「ニコライ2世」、極東総監「アレクセイエフ」、太平洋艦隊司令長官「マカロフ
中尉」
左下第二艦隊司令官「フェリケルザム少将」、第二艦隊司令長官「フェルケルザム少将」、第三戦
隊司令官「ネボガドフ少将」、
1905年 日露講和条約
アメリカ大統領ルーズベルトが仲介



日本の勝利と歴史的意義
これが一番重要な部分
日露戦争の日本の勝利により、列強に隷従させられていた国々、特に有色人種と蔑視され、抑圧されていたアジア、アラブ諸国に希望を与え、独立の機運を高めた
ロシアに抑圧されていた「フィンランド」「ポーランド」の独立運動を高め、アメリカにおける黒人に対する「人種差別撤回運動」にもつながった

各国の記念品



記念艦三笠に来館された外国のお客様からの記念品を展示

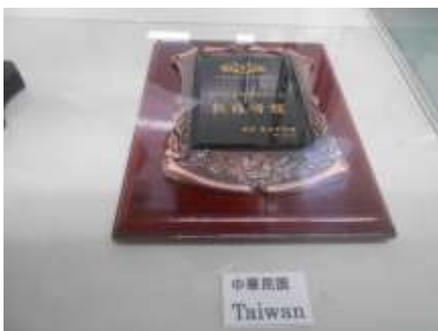
一部を紹介します

イギリス ローバー市紋章



イギリス

アメリカ



中華民国(台湾)

韓国も



フィンランド
アラブ首長国連邦



三笠保存会の小冊子



日本海海戦の歴史的意義

孫文(1866年～1925年)や、初代インド首相ジャワハルラール・ネルー(1889年～1964年)にも影響を与えた。ネルーはこのように子供たちに話した。インド独立運動に向かう日本はここまではよかったが、その後が悪い。

大東亜戦争後、三笠の甲板から上は、ダンスホールと水族館になっていた。



三笠復元に尽力した「山梨勝之進大将」と「C. W. ミニッツ元」の写真。ミニッツは記念に月桂樹を3本植えた。



残念なこと

3本の内2本が枯れ、残りの1本もかれかかっている 管理をしっかりしてもらいたい

三笠公園から、近くの直売所に向かう 次回は猿島に渡る予定だ

三笠公園のアジサイ



売店



海軍グッズ

海軍レトルトカレー



横須賀海軍カレー

三笠砲弾豆

ピーナツ菓子に竹炭をコーティングしたもの



近くの直売所へ歩いて向かう



「YOKOSUKA PORT MARKET」

「旬産旬消」がテーマ

MISAKI DONUTS



入口から左に曲がれば、くだもの、野菜売場

正面に進めば鮮魚売場



寿司をチェック

14 時頃だが、もう値引きされている 中央の「マグロにぎり」がいいな
生牡蠣



サザエ、ハマグリ サザエ 800 円が半額になっている
生マグロ 三崎マグロはブランド力が高い



冷凍マグロ スーパーマーケットもこうした冷凍販売ができないか 「サク」⇒「スライス」⇒「タタキ」
はそろそろ考え直さないといけない マグロカマ焼き 900 円前後 これは買いたな



「葉山牛」売場 サーロイン100g1500円 ヒレ 100g2000円(タイムサービス 1800円)

肩ローススライス 100g1200円 リブローススライス 100g1300円(タイムサービス 1000円)



スライス、焼肉用は 1000円前後
生のホルモンもよく品揃え



チルド売場

青果売場 神奈川県産の野菜がよく揃えられている



神奈川県産 キューリ1袋 150円 サラダ人参1袋 128円

二十日大根1袋 168円



あした葉 1袋 198円

イトインコーナー



寿司 800円(値引き 600円)とまぐろカマ焼 892円

「赤身と中トロセット」は売り切れてしまっていた

まぐろは一貫多いが、スーパーマーケットのレベルと変わらない

時間が経っていて期待したものではなかった



まぐろ照焼は大きいけど硬い

箸ではなかなかちぎれない

電子レンジで加熱すればよかった



7月のテーマは毎年「日本人が関係した世界史 国内編」

去年は、会津若松、広島、呉を特集した

今年も、「ペリー来航」「戦艦三笠」を見学

「坂の上の雲」の松山、善通寺、徳島の「坂東捕虜収容所」を計画しています

四国 松山特集 2019年7月
愛媛県松山に向かう
羽田発JAL431便 7時25分発



松山空港に到着

「労働雇用大臣会合」のポスター
あまり意味が分からない 丁度、2019年7月18日から、台湾からの定期便が就航する
上海、ソウルからは定期便がすでにある



リムジンバスの自動発券機
説明を聞かないと買い方がよくわからない
日本語で書いてあるが、外国にいるようだ
ここは「JR松山駅」
もう一つ「伊予鉄道 松山市駅」があるため、よく間違えるようだ



松山市案内図

かなり気温が上がってきてるので、重い荷物を引いて歩いてホテルに向かうよりタクシーを選択
ANAクラウンホテル



ネットで 10000 円以下で予約できた
部屋はそれほど広くないがベットはゆったり
昼食を食べに市内を散策
ビルの壁に正岡子規の句が
松山らしい



趣のある寿司屋だが、今日は休日
「鯛めし かどや」専門店のようだ 後から分かった事だが、市内に何店もある
愛媛県は養殖鯛の水揚げ量は日本一
2015 年データによると、鯛の水揚げ量は全国計63, 605トンに対し、愛媛県は34, 208トン
半分以上のシェアを占めている
2位は熊本県10, 420トン、3位三重県5, 530トン



こんな階段を降りてゆくと、元気のいい若いスタッフが出向かけてくれる
酒のメに食べたものが「宇和島鯛めし」の由来らしい



おすすめの「鯛めし さつま午前」

創業は昭和 30 年 宇和島で食堂を開店したんが始まり



「宇和島鯛めし」 1500 円

「宇和島鯛めし さつまご膳」 2180 円

周りの観光客もこれを注文している 注文してすぐに大きなお膳がでてきた
お膳からはみ出しそうだ スタッフが食べ方を丁寧に説明してくれた



鯛めし用の鯛のお刺身 この盛り付け方の意味は？

タレと生卵をよく混ぜ、鯛めしのたれをつくる



混ぜたタレの中に、鯛のお刺身と海草を入れて軽く混ぜる
鯛をごはんの上に載せて、好みにタレをかける
ハーフサイズなのでタレが余るが、まあ想像していた味
前に博多で食べた「鯛茶づけ」とはまた違う



さつま汁

焼き鯛のすり身と味噌とダシを混ぜたものらしい
刻み柚子と大葉をトッピング
キュウリが入っていれば宮崎名物の「冷や汁」だ



こんな食べ方のイラストも
どうしてもこれに目が行ってしまう

ブログを書いて気づいたこと
うまい商売をしているな
これは悪口ではないので誤解がないように
商売がうまいという意味は

1. 大きなお盆からはみ出しそうなのは器
器が大きいと豪華に見えるが、料理は少ない
ごはんの面積が広い
2. 鯛の刺身の盛り付け方
陶器の皿に貝殻を載せ、さらに大葉を載せ、少なくとも多く見せかけている
3. 客に作業をさせる

生卵とタレを混ぜその中に鯛を入れさせる

さつまいを自分でご飯にかけて、ゆずと大葉をトッピングさせる

4. スタッフが説明をすることで、客は作業に集中する

事前に、ご飯に鯛を載せたものと、さつまいのかかったご飯と吸い物を出したら、この値段は取れない

お客の遊び代が含まれている



おいしくいただきました

鯛めしのおいしいタレが余ってしまうのが気になる

ソーメンも名物なので、そのたれにつければ付加価値が付き無駄がないような気がする

ジンジャエールを足して、合計 2530 円

12 時を過ぎると続々と客が入ってくる繁盛店だ

やはり名物料理と歴史のある店は強い

松山「萬翠荘」

1922 年(大正 11 年)、旧松山藩主の子孫、久松伯爵が別荘として建てた

フランス ルネサンス様式の洋館

左右対称ではないことが特徴

山の中の西洋のお城のよう



国の重要文化財

案内図

右下が「坂の上の雲ミュージアム」



俳句の記念碑

柳原極堂の句

「城山や笥のびし垣の上」

ちなみに、テレビでお馴染みの俳句の先生「夏井いつき氏」は、愛媛県南宇和郡の出身
元中学国語教師



これは？

漱石先生 最初の下宿跡

昭和28年4月～6月と手書きで書かれている

今はカフェになっている 後で寄るつもりだ



洋館が見えてきた

1922年、旧松山藩主の子孫、久松伯爵が別荘として建てた

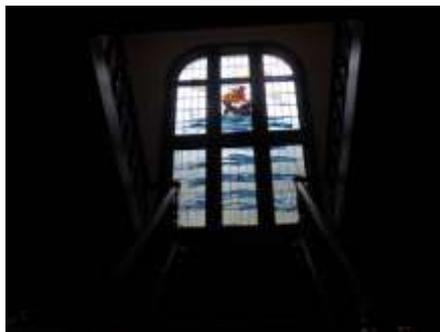
フランス ルネサンス様式の洋館

大きな水晶のステンドグラス、アールヌーボーのステンドグラスなど、随所に凝ったデザインが施されている

入口の人力車



特別展示映画「ソローキンの見た桜」
日露戦争後、日本にはロシア人捕虜収容所があった
ロシア人兵士と日本の看護師とのロマンス
映画撮影にこの建物が使われたらしい
展示写真



二階に続く階段のステンドグラス
「木内真太郎」作

見取り図



ジオラマ
わざと左右対称に造られていない 2階のテラス



昭和天皇の肖像画

昭和天皇が宿泊された2階の部屋



1階のゲストルーム 壁紙や絨毯は新しく貼られている

左の大きな鏡はベルギーから輸入されたもの

大理石の中にガスストーブ



大広間

晩餐会の使われた部屋

水晶でできたシャンデリア



その下はパワースポットらしい

しばらく下に立っていたが、薄い後頭部にはあまりパワーを感じなかった
壁紙が剥がれている

スタッフに「ここには金唐紙が貼られていたのでは？」と聞くと

「分からない」という



菊の門が付いた茶わん

庭にある井戸

夏目漱石が井戸水でお茶を飲んだ



藩政時代の井戸

この近くに下宿していた「夏目漱石」がお茶を好んで飲んだ

漱石カフェに向かう



漱石が下宿した「愛松亭」跡

その跡地に「漱石珈琲店」



中はガラス張り

漱石と子規の友情と文学 漱石は子規にこんな手紙を書いている

「我が宿所は城山の中腹にあり眺望絶佳なり」と自慢している



漱石全集

メニュー コーヒーカップは「砥部焼」



外にはテラス席も

漱石カフェを後にして、近くの三越の食品売場へ

松山の三越

右がANAクラウンホテル

左隣が三越



夕方の食品売場を覗いてみる
三越の入口のライオン像



三越のシンボル

ロンドンのトラファルガースクエアの「ネルソン記念塔」の下のライオン
1914年、日比翁助がそのライオン像を模してつくった
ここには昭和47年11月に設置された

ロンドン ネルソン記念塔のライオン(2013年1月訪問)
三越のライオンは、ここの四分の一のサイズだと記憶している



三越ロンドン支店
今はどうなっているか分からないが
当時はオプションツアーの集合場所になっていた



夕方の食品売場

当然品薄になっている

私の地元 長野県伊那市 伊那食品工業 「かんてんぱぱのスープ用糸寒天」



「なかよし」青森県の花万食品

チーズとイカを使った高級珍味 売れているのか大陳している

愛媛県喜多郡 宮栄商事 芋油菓子「芋娘シリーズ」



「かつおぶし 刺身こんにやく」と「あおさのり 刺身こんにやく」

「ちゅうちゅうゼリー」



冷凍メロンパン

ヨークベニマルのライフフーズの冷凍食品売場でも似たような商品が売られている



イタリアのパン「パンドーロ」 ハーフサイズだが 594 円

わさびーンズ



人工いkraのようなワサビ

アイデアがスゴイ

これは使い方によってはおもしろい

ワサビだけでなく、にんにくや生姜、辛子にも応用できる

購入商品

専門店の「パンドーロ」

パネトーネ種を使って焼いた日持ちするパン ハーフサイズ

ドライフルーツが入っていれば、クリスマスの「パネトーネ」だ

黄色は卵の色で、着色料は使われていない

パウダーシュガーが添付されている



野菜売場のカットフルーツ

内容の割には安く売れているようだ

最後の1パックだった



催事業者の煮物、和え物

さばの煮物、れんこんの胡麻和え、白和え、五目ひじき

4品バンドル販売で売っていたので購入

薄味で飽きない上品な味



チラシ寿司弁当 専門店の弁当

800 円の商品が半額になって 400 円

チラシ寿司には柑橘類の酢は使っていない



あまぎ唐揚げ

どんな魚か分からないが高級魚だろう

小骨がなく食べやすく、おいしかった

ポン酢とレモンとよく合う



いよかん芋娘 280 円

いよかん風味の俗に言う「芋けんぴ」

愛媛らしい揚げ菓子

「伊勢志摩 おあさのり ひとくち刺身こんにゃく」 230 円

三重県松阪市 牧野商店

昔ながらの「ばた練り製法」



レシートは全部ではないが、合計で 2000 円ほど

ホテルの朝食は申し込んでいない

一日一食は外食

残り二食は中食

先日、東北新幹線の車内誌「トランベール」を見ていたら

地理学者の長谷川直子氏が

「地理学は、地形などの自然環境を入口に、

その土地の歴史、人々の生業(なりわい)、食文化など、

いろいろなことを見ていく総合的な学問です。

そのためには、現地に行って、

そこで見えている景色の裏には

何があるかを調べている」

と書かれている

景色の裏を想像することはとても楽しい

「秋山兄弟生誕の地」

松山城ロープウェーに向かう途中に「秋山兄弟生誕の地」が復元されている



案内版を見て右に回る 常盤同郷会の建物を過ぎる



秋山兄弟生誕の地

「貧しくとも志は高く」 激動の明治時代の中にあって 「星雲の志」を抱き続けた 松山の偉大なる先人」

秋山兄弟生家



秋山好古像



兄 秋山好古(よしふる)大将像

秋山好古は、日露戦争で日本の騎馬隊に世界で初めて機関銃を常備して、世界最強と言われたロシアのコサック騎兵隊を撃退した

退役後、松山の北予中学校の校長に就任

「人間は苦勞せんとできあがらんのじゃ」は有名な言葉

秋山真之像



弟 秋山真之(さねゆき)中将像

五男真之は、海軍兵学校を首席で卒業

日露戦争で連合艦隊先任参謀となりすべての作戦を立案

ロシア バルチック艦隊を撃滅して日本の危機を救う

「本日天気晴朗ナレドモ波高シ」の電文は有名

国の将来を憂い

空軍と潜水艦の強化を説き

中国革命の「孫文」を支援

「アメリカと戦うことの非を唱えた」

正岡子規とは松山中学校以来の無二の親友

八畳の日本間



奥の言葉は「一以貫之」(いちをもって これをつらぬく) 好古書

意味は「一貫して変わらずに道をすすむ」

好古は「男子は生涯に一つのことを成せば足る」と語っていた

床の間の言葉 好古書

「人事有憂楽 山光無古今」(じんじ ゆうらくあり さんこうに ここんなし)

人事(人の世)には憂いや楽しいことがあるが、山光(自然)は古今を通じて変わらない



建物の裏に回る

「熟慮断行」(じゅくりよ だんこう) 真之書

十分に考えたうえで、思い切って実行すること



当時の台所

かまど



展示品

真之は、トルコの戦艦エルトゥールル号の生き残った船員をコンスタンティノープル(イスタンブール)まで届ける



真之の正岡子規へのハガキ

「コンスタンティノープルに来たレドモ なにも驚く者なし
世界ハ広くして余程 狭く御座候」 二十四年正月元旦

「三笠(日本発注)」 ヴィカース社(英国)バロー造船所
秋山真之、広瀬武夫ら、三笠建造を視察



秋山兄弟 産湯の井戸

真之が好きであったイチジク

丁度今がシーズンだ



記念碑

ビデオを見る



隣の建物は「常盤同郷会」

旧松山藩主 久松家によって創設され、好古が監督を務めた
柔道や合気道の道場



印象に残る言葉

「一貫之」（いちをもつて これをつらぬく）好古書

意味は「一貫して変わらずに道をすすむ」

好古は「男子は生涯に一つのことを成せば足る」と語っていた

「秋山兄弟生誕地」を後のして、「山の上の雲ミュージアム」に向かう

松山「坂の上の雲ミュージアム」



コンクリートの建物

左のスロープを進む

「坂の上の雲」は司馬遼太郎の作品

松山出身の「正岡子規」「秋山好古」「秋山真之」が登場人物

子規は新聞記者になり、近代俳句、短歌、文章の革新に力を注いだ

好古は陸軍、真之は海軍の道に進んだ

今の時代を生きる我々に多くの示唆を与えている

というのが説明

全6巻もあるので読む時間がなく概要しか読んでいない

今回読んだ本



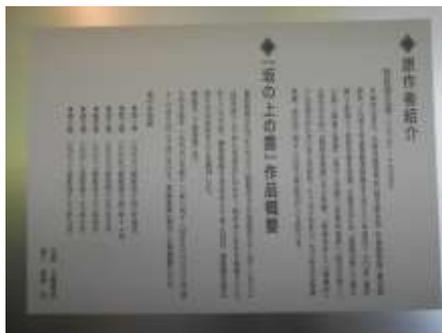
2階に上がれば、司馬廉太郎の像か？

カフェ



時間があればゆっくりできる

窓の向こうは「萬翠荘」



一部の展示物は、著作権の問題で写真撮影禁止

原作者の紹介

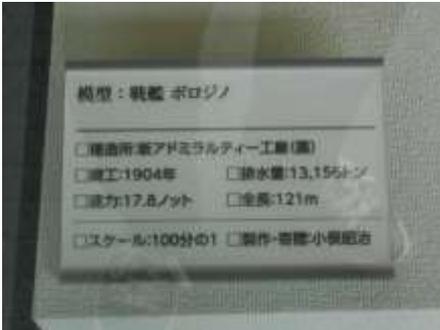
日露戦争についての展示は少ない

なぜここにロシアの戦艦が



よく見ると三笠と同じように、操舵室の上は木製、下は鉄製の2段になっている

日本海海戦で、日本の軍艦富士の主砲弾が命中し沈没
ユシチェンコただ一人が、近くを通った日本の駆逐艦に救助された



日本各地にロシア人捕虜収容所があった
これは勉強不足で知らなかった
新しい発見
日露戦争後の日本のロシア人捕虜収容所マップ
松山にもロシアの捕虜収容所があった
ロシア人墓地もあるらしい
ロシア兵の写真



「ソローキンの見た桜」
2119年公開の日本・ロシア合作の恋愛映画
第一回日本放送文化大賞ラジオ部門でグランプリ
南海放送でされたラジオドラマ「松山捕虜収容所～ソローキンの見た桜」の映画化

日露戦争時の愛媛県松山を舞台に、ロシア人捕虜とその看護にあたった日本人看護師の許されない恋を描く

阿部純子が明治時代と現代の一人二役を演じる

当時を知る意味でこれはぜひ見てみたい

松山城二の丸史跡庭園の案内図

目に前まで行ったが中には入らなかった



二の丸のパンフレット

左の写真は奥御殿跡流水園

史跡の間取りの中を水が流れるようにした

大井戸遺構

「恋人たちの聖地」

日露戦争当時、ロシア人捕虜と日本人女性看護師のロマンスを秘めた「金貨」が出土した場所とされている

結婚式の前撮りの場所として、年間 500 件ほどの撮影が行われているという

ロマンチックでプロポーズにふさわしい場所として評価されている

松山にまた名所が

SNSの影響からか、外国人の観光客も多い



日露戦争に関しては前に説明しているため、ここでは省く

大連、旅順特集を含め、後でまとめたものを盆休みにでもつくる予定だ

坂の上の雲に関する展示品だが、撮影禁止

立派な4階建ての建物だが、展示物が少なくテーマが絞れていない感あり

みやげもの

「坂の上のくもまんじゅう」「いよかん、みかん、サンフルーツジュース」



「ぼっちゃん団子」

「秋山兄弟 五色ソーマン」



「坂の上の雲」全6巻を読んだ者にとっては聖地かもしれないが勉強不足で消化不良であった
次回は、「フジグラン」の商品を紹介します

JR松山駅



松山駅からフジグランに向かう途中のレストラン

郷土料理を食べさせてくれるみたいだ



洞窟のようなところを進んでテーブルへ

「ソーメン」と「鯛の釜めし」を注文
名物の「五色ソーメン」かと思ったが普通のソーメン
四国のソーメンにツユがおいしい
椎茸ははかかなり濃いめの味付け これも意味がある



一人であるため、2品くらい頼まないと名物料理が食べられない
少し無理して食べることが多い

鯛釜めしができた
料理屋さんの鯛めし(炊き込み)や鯛ソーメンは多すぎて一人では食べきれない
それと予約しなければならない



俗に言う α 米を使っているようだが、鯛は生を使っている

少し余熱を取らないと水っぽい

置きすぎるとパリパリになる



ごはんをほぐす

お茶碗 3 杯分くらいは取れる

まずはそのままいただく



次におこげを

最後は、吸い物をかけてお茶づけで、漬物と一緒に

これは私流



EMPTY DISHES

ソーメンと釜めしを完食

フジグラン

株式会社フジは、愛媛県をはじめに四国 4 県、広島県、山口県に店舗展開しているチェーン
本社は愛媛県松山市 店舗数は96、売上約3070億円(2018年2月)



道を挟んでエディオン
入口



中に入り、右に進むと惣菜と専門店ゾーン

まるでデパートのようだ

左に進むと、青果売場、日配売場、生鮮売場へと続く、変わったレイアウトだ
テナントの「クックチャム」

クックチャム 本社愛媛県新居浜市 売上高約62億円

クックチャムの考え方

「クックチャムがあつてよかった」そう言っていたかたくて

必要とされる店でありたいという思いが伝わってくる



購入商品

「クックチャムのソーメン」 300円(本体価格 以下略)

さっきソーメンを食べたばかりなのにまた食べたくなる

盛り付けもキレイだ



ソーメンつゆがおいしい

「あさりご飯」 225円

他にもいろいろと味付けご飯が品揃えされている



あさりがたっぷり入っている

ご飯もうまく炊けていておいしい

フジで購入した商品

持ち帰ると形が崩れする恐れがあるので、外のカフェのテラスで撮影

「二分の一分の野菜がとれるサラダ 鳴門昆布入り」 198円

このボリュームで198円は安い



「焼きじゃが(明太チーズ&タルタル)」 298円

ポテトベースの上に明太、タルタル、青のりをトッピング

これはおいしかった



中はホクホクでこんなかんじ

洋食デリ「枝豆とコーンのポテサラチーズ焼」 298円



ポテト、枝豆、コーンと季節感がある
見た目のいい
中は



以上、ポテトメニュー2品

「だし香るとり天」 1本120円

鶏ささみ肉の天ぷら 衣はサクッと中がジューシー

ササミチーズカツも120円でバラ販売

これもよく売れている



「国産ごぼうと鶏ささみの甘辛揚げ」 198円

これもささみメニュー



ささみの量が少ない

以上、鶏ささみシリーズ3品 じゃこカツ 1枚 100円 じゃこのすり身をフライにしたもの

じゃこ天も名物商品



「けずりかまぼこ」 1袋 300円(税込み 以下略)

食べ始めると止まらない

これはいい



「タピオカ」 1袋 149円

今話題のタピオカ

タピオカ本体でタピオカミルクティではない

あんあんつむぎ300円



焼き菓子

一六タルト 108円~140円



中はロールケーキ

脱酸素剤



今はこうなっている

名物「ぼっちゃんだんご」 108円など



餡だけで米粉は使っていない
「みかんもち」 1袋321円
みかんゼリーが餅の中に



あまくさゼリー 1本320円
ポンジュース 1本 127円 これはお付き合いで



以上、みかん関連3品
安曇野 豆菓 1パック 170円 長野県のメーカーなので、ついついうれしくて買ってしまった
4000円ほど買った 全て無駄なく試食させていただいた



街中でよく見かける「一六タルト」お店



路面電車乗ってホテルに帰る

愛媛県庁

戦災を免れた

空襲を防ぐため屋根を迷彩色に塗ったらしい



明日は、松山城へ行く予定

まだまだ続きます

松山城

松山城は、1602年(関ヶ原に戦いの2年後)、加藤嘉明が築城

21棟の重要文化財を持つ城

ロープウェー、リフト乗り場に向かう



途中のかまぼこ屋

名物の「じゃこ天」



一枚焼いてもらう
食べながら



ロープウェイ、リフト乗り場
土産物店



鉛筆に模した「五色ソウメン」
「伯方の塩」



リフトで上まで

左がロープウェイ

松山城のパンフレットと小冊子



歴代松山藩主

初代 加藤家から松平家(松家)

松山藩歴代藩主

加藤嘉明在位(1600年～1627年)

蒲生忠知在位(1627年～1634年)

松平定行在位(1635年～1658年)

会津若松とのつながり

会津若松「鶴ヶ城歴代城主家紋」(2018年7月 鶴ヶ城にて撮影)

加藤氏 1627年～1643年にかけて鶴ヶ城に転封

蒲生氏 1590年～1598年 1601年～1627年

1627年から加藤氏とのトレードで、松山城に転封したことが分かる



高い石垣



戸無門

門が多すぎて全部紹介できない
石垣の形に柱を合わせている



かなり標高が高くなっている
筒井門の罫



裏から見ると門が二つある
隠し門が左にあり、そこから攻撃できるようになっている

時代による石垣の違い

下が「切り込みハギ」、上が「打ち込みハギ」



天守

左が小天守 右が天守

櫓の立つ石垣



櫓

井ノ口

二つの破風からも攻撃できるように設計

四方からだけでなく、上からも攻撃できるようになっている



枡形

天守内部

引き戸や畳が入れられるようになっている



破風の内側

普通 破風は天守の飾りであるが、鉄砲口と弓口が付いている
徳川の紋章



兜

刀と槍



最上階

四方の景色





中央のドーム手前の建物が、秋山好古が校長を務めた「松山北高等学校」



ロープウェイ降り場まで戻り、いよかんソフトを

食べながら二の丸に下る

途中、中国系の若い女性の集団が

たぶん、「恋人たちの聖地」を見て、松山城に向かう途中なのだろう

列の最後の女の子が、私のソフトクリームを見て、ニヤッと笑う

私も微笑み返し

二の丸から本丸に向かうルートはかなりハード



登り石垣

本丸から二の丸までは二本の石垣がある



今は通れないが、たぶん万里の長城の様に上を歩けたのでは

二の丸に到着



二の丸の案内図

ここは諦める

山の頂上にあるのが松山城

お堀からはかなり距離がある



路面電車に乗りホテルに戻る

次回は日本最初の温泉「道後温泉」をレポートします

ここで、地元信濃国との関係を知る

「道後温泉」

日本最古の温泉だと言われている

宮崎駿さんの「千と千尋の神かくし」のモデルにもなったとも

市内から道後温泉行の市電に乗る



社内の様子

ゴトゴトとのんびり走る

「六時屋のタルト」

松山はタルト店が多い



道後温泉駅に到着

駅の隣にはスターバックスの建物



駅前

ぽっちゃんからくり時計



1時間ごとに夏目漱石の小説「ぼっちゃん」の登場人物が現れるというからくり足湯「放生園」

道後温泉本館の風呂にもこのタイプの湯釜がある



明治時代に使用された「湯釜」から湯が湧き出る

温度調節に使うらしい

俳句碑



「春風や ふね伊豫に寄りて 道後の湯」柳原極堂

正岡子規の野球像



子規は東大時代に野球に熱中し、野球を題材に俳句や短歌を詠んだ

「投者」「打者」「走者」「直球」などの用語をつくった

子規没後 100 年にあたる平成 14 年に「野球殿堂入り」果たした

「インブリー事件」

第一高等学校(現東大)と明治学院白金クラブの日本初の対校野球試合において、

遅れてきたアメリカ人宣教師インブリーを東大生を暴行し重傷を負わせた

国際問題にもなった事件

正岡子規はその試合を観戦 日記に「情けない」と記している

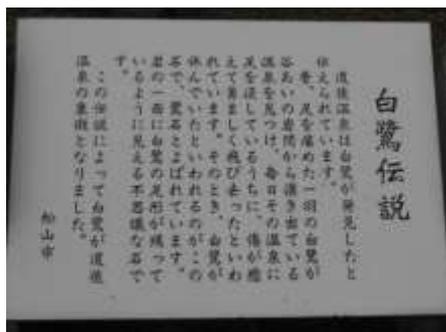
ちなみに、明治学院白金倶楽部の初代主将は「白州文平」、実業家「白州次郎」の父

歴史を調べているとおもしろい

白鷺(しらさぎ)伝説

道後温泉は白鷺が発展したと言われる

本館の建物の上に白鷺が飾られている



観光案内所で地図をもらうと、ボランティアのガイドが案内してくれるという

1 時間半も対応してくれた

「道後温泉本館」

木造り三階建ての本館は国の重要文化財

後で汗を流す



「宝厳寺」へ向かう

ガイドが居なければ訪れなかったかもしれない場所

ここがおもしろかった
ガイドの説明を聞きながら参道を歩く
子規と漱石もこの寺に訪れてた



お寺近くの新しい立派な建物
これは、テレビの俳句番組でお馴染みの



「夏井いつきさん」の俳句道場「伊月庵」
説明を聞かないと分からなかった場所

伊月庵の道の反対側は駐車場
ここにはかつて「朝日楼」という女郎屋があったらしい
この参道はかつて女郎街であったという
漱石は「参道に女郎街とは何事だ 情けない」といったらしいが、その後の行動は定かでない



奥の石垣は当時のものらしい

その脇の細い道

これは朝帰りの客が通った道

それにしても「朝日荘」とは

アニマルズの「朝日の当たる家」のメロディが浮かんでくる

私はちあきなおみの「朝日の当たる家」が好きだ

近くの山の中にお墓があるようだが、誰も墓守をしていないという



思わず、先に進んでしまう自分が「情けない」

宝巖寺に到着



あまり私は振り返って写真を撮らないが、この時は、なぜか参道を振り返り写真を撮る

「南無阿弥陀仏」の石碑

浄土宗、浄土真宗のお寺であることが分かる

いったい誰のお寺か



石碑を見ると

「一遍上人和歌」

一遍上人に関係したお寺だ 一遍はこの辺で生まれた



正岡子規の句



「色里や十歩はなれて秋の風」

ガイドが言う「先ほどお客さんが振り返って写真を撮った女郎屋跡から十歩」
そういう意味だったのか不思議に思う



阿弥陀三尊(浄土宗のご本尊)

中央が「阿弥陀如来」、右が「観音菩薩」、左が「勢至菩薩」



隣の建物

「一遍上人像」と「一遍聖絵」



一遍上人像

この像を見て、私は「合わせた手の平の先が、こちらを向いている不思議な像ですね」というとガイドは「そんなことを言ったのはお客さんが初めてです」という

さらに「この絵を見てください」

「合わせた手のひらは前を向いています それだけ攻撃的な人だったんです」と



一遍遊行地略図

信州の「善光寺」「小田切里(現佐久市)」も描かれている

一遍上人の葬式のまき絵

この絵は勉強になる

絵を見れば身分の高い人も低い人も一緒に描かれている

それだけ、誰にも平等に接したことが覗かれる



中心が一遍上人

ガイドは「白装束はライ病(ハンセン病)の方々です」

政府はやっとハンセン病の方々への差別に対しお詫びした

信濃国との因縁

ガイドの「どこから来たんですか？」に対し、思わず「東京からです」と答えてしまった

なぜ長野県と言わなかったか反省している

あまりにも無知なので、後で一遍上人についてネットで調べて驚いた

一遍は、「1289年 鎌倉時代中期 伊予の国久留米の豪族 河野通広の第2子としてこの地に生まれる

河野氏は1221年の「承久の乱(後鳥羽上皇と鎌倉義時との戦い)」で京方について敗北

伯父の河野通政は、信濃国伊那郡羽広(長野県伊那市)に配流される」とある

伊那市羽広は私の家から車で5分

同級生に「河野姓」は確かにいた

さらに、伯父河野道末は、信濃国佐久郡伴野(長野県佐久市)に配流し没落

父道久のみが残り、一遍が生まれる」とある

今に残る佐久の「跡部の踊り念仏」は、一遍上人が伝えたもの

国の「無形文化財」に指定されている

無知も恥ずかしいが、正直に出身地をガイドに伝えれば、話がさらに盛り上がったかも

「情けない」

近くの神社に向かう



伊佐爾波神社(いさにわじんじゃ)

松山市市街地の西部、道後温泉近くの道後山山腹に鎮座する

国の重要文化財に指定されている社殿は、全国に3例しかない八幡造である

このほか、重要文化財の太刀(銘 国行)が伝えられている。

道後温泉の続き

道後温泉 伊佐爾波神社(いさにわじんじゃ)

松山市市街地の西部、道後温泉近くの道後山山腹に鎮座する

国の重要文化財に指定されている社殿は、全国に3例しかない「八幡造」である

このほか、重要文化財の太刀(銘 国行)が伝えられている。

案内版

回廊を持つ八幡神社は日本で3例しかないという



社殿

この屋根部分は「神社建築」



こちらの屋根は「寺院建築」

回廊に展示されている絵



武士の絵

日露戦争の絵

203高地から旅順湾の眺め



ここでボランティアガイドと分かれる

勉強不足で申し訳なかったと反省

それでもガイドは「おもしろい人とお会いできた」と言ってくれた

ありがとうございました

百日紅(さるすべり)の花が咲いている

「湯築城跡」のお堀



蓮の花が咲いて、カエルが出迎えてくれた

蓮の花の前にカエルが顔を出している

ここにも昔の湯釜



近くの掲示板「道後俳句塾2019」の案内

「宇多喜代子」「黒田杏子」「松本勇二」「夏井いつき」の順に書かれている

「黒田杏子先生」は「夏井いつき先生」の師匠
小林一茶の句碑



「寝ころんで 蝶泊まらせる 外湯哉」
のんびりとした光景が浮かぶ
子規の句碑



「足なえの病いゆとふ伊豫の湯に 飛びても行かな驚にあらませば」
カリエスのため左腰骨が痛みだし、以後没年まで8年間ほとんど病床の人となり、故郷の歌を詠んだ

道後公園の隣に「松山市立 子規記念博物館」
城址公園のすぐ隣の立派な建物



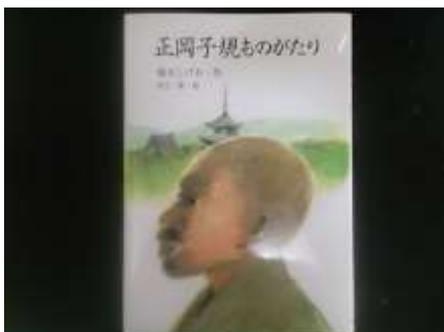
「十年の汗を 道後の温泉に 洗へ」 子規
私の「スーパーマーケット見聞録」も十年を迎えた
道後温泉に浸かって十年の汗を流して、リセットしてまた頑張るつもりだ

館内

右から「夏目漱石」「正岡子規」「柳原極堂」



時間がなく、展示館には入らなかった
その代わりに、売店で「笑う子規」を買う
スタッフが簡単でおもしろいのでと勧めてくれた
これは前に買った「正岡子規ものがたり」
子規の人生が分かりやすく書かれた本



道後温泉本館に戻る

丁度改修工事の始まり、本館全体がテントで覆われることになる

どうにか正面だけ見ることができた

夜のテレビ番組ではすっぽりとテントで覆われていた



ここでよく記念写真を撮るが、ここは正面玄関ではない

道後温泉

平成6年12月27日「重要文化財指定」

神の湯本館は、三層楼で、新殿は天皇や皇族の方々の入浴に備えて建てられたもの



石碑

道後温泉は日本最古の温泉として全国に知られており、
その昔、足を痛めた白鷺(しらさぎ)が、岩間から湧きでる湯で傷を癒したことが湯泉の起源
聖徳太子や皇族のご来浴や多くの文人が訪れています



「振鷺閣」と呼ばれる太鼓櫓

先ほどの入口から左に回った建物

シンボルの白鷺の向きから、こちらが正面玄関

ここで太鼓を叩いて時を知らせた



入口は3つある

一番左がVIP、中央が男性、右が女性であったが、今は中央だけ
左奥のVIP入口は改装中

中央の入口



この火の鳥は最近のものだろう

入浴料 大人 410 円

タオルは中古を 50 円で貸してくれる



風呂の中にも大きな湯釜が据えられている

そこには大人が子供を抱いたデザインが彫られている

出口であの彫り物は？」と聞くと

この絵で説明してくれた

大人は「大国主(オオクニヌシ 出雲出身の神様)」、抱える子供は「少彦名(スクナヒコナ)小さな神様」という

右の黒装束は「聖徳太子」



風呂の中に句？

「ぼっちゃん 泳ぐべからず」

番台で「女風呂にはなんて書いてあるんですか？」と尋ねると

「女風呂にはない」という

実は、小説の坊ちゃんは温泉で実際に泳いでいる

泳がぬようにとつけたものであろう

そこで

「坊ちゃん 泳ぐべからず 道後の湯」

と付け加えた

今回は、道後温泉の食事と途中になったスーパーマーケットをレポートします

道後温泉で食事

ガイドのおすすめの店

道後温泉本館のすぐ近く



魚料理の店のようだ

お刺身定食 1100 円のご飯を鯛めしに変更してもら



さらに「鯛あらだき」1000 円を別注文

刺身定食 1100円+鯛めし代

刺身、じゃこ豆腐、香の物、吸い物、鯛めし



刺身4点盛り

刺身醤油は少し甘め

中トロ、鯛、カンパチ、サーモンは鮮度も味もよかった

鯛は厚切りカットがうれしい

スーパーマーケットだと3枚くらいのそぎ切りできるほどの厚さ

刺身は切り方で味が違う

中トロもカンパチもうまい

輸入のサーモンは無くてもいいかな



鯛の炊き込みご飯

鯛は煮たものを使って米と一緒に炊いている

鯛の吸い物

レモンが浮いている



「鯛あらだき」

大きな鯛の頭を、アクアパッツァ風に煮たもの
ポン酢は、「だいたい酢」を使った自家製

サイズが大きいため天然物のようだ

レモンを絞っていただく

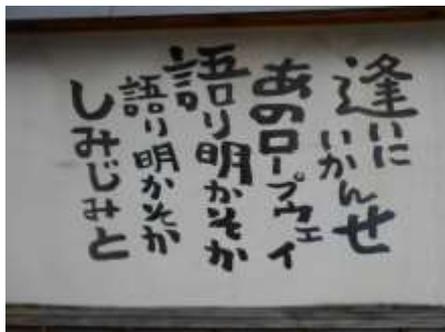
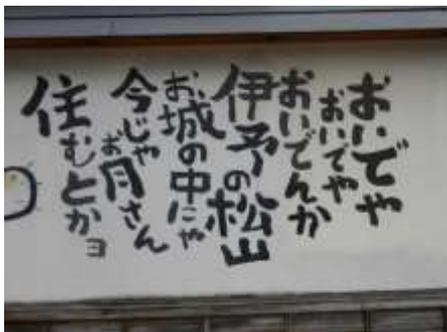


EMPITY DISHES 完食

少し食べ過ぎだ

表の文字

昔は「伊予」を「伊豫」と書いた



しみじみと語り明かしたい町

アズレージョ(タイル)の案内図



商店街を歩く

珈琲専門店で一休み



アイスコーヒーでほっと一息

路面電車で市内に戻る

行く時に気になっていたスーパーマーケット「SUPER ABC」

市電で松山市駅(伊予電鉄)まで戻れば、「正岡子規生誕の地」「子規庵」が近くにあるが、
ここはスーパーマーケットを優先した

「上一万駅」で下車



スーパーと100均が同居

SUPER ABC

300坪ほどの小型店

売場管理はしっかりしている

店内で分かった事、PB商品からスーパーフジの系列店



購入商品

「12品目 昔ながらの味 おばあちゃんのバラ寿司(小)」 198円

フジグランでも見て気になっていたちらし寿司

フジの自社工場で製造 錦糸卵も工場で作られたもの

夏井先生風に言わせてもらおうと

評価のポイントは

1. 「てんこ盛りマーチャングダイジングの妙」

チラシ寿司とトレーのバランスが非常にいい

チラシ寿司とトレーの蓋までの間隔は5mm以内、蓋には当たっていないギリギリの盛り付け

持ち帰る途中、少し横になってもあまり崩れない



2. 昔からの地元の味を残している

具もたっぷり 四国のちらし寿司には「金時豆」がトッピングされている

これが邪魔にならない

3. 価格コンシャス

この内容で198円は安い

昔ながらの味と、昔ながらの価格

「手焼き玉子の寿司結び」 198円

評価のポイントは、

1. 四国独特の「ゆず酢」を使っている

かんきつ系の清涼感があり私は好きだ

シールのデザインもよい



2. これも寿司とトレーのバランスがいい
サイズがピッタリ

蓋についているが、逆にこれがボリューム感を出している

3. 手間がかかっている

これも自社工場製 玉子焼きは自家製、さらにそれを巻いている「五目ずしの玉子巻」

4. 価格コンシャス

3本入って198円は安い

一日一回は「外食」、残り二食は「中食」

ホテルの朝食は申し込まなかった

次回は、松山から香川県 善通寺、丸亀を紹介します

善通寺では、自衛隊管理の「乃木館」、「丸亀城」

スーパーマーケットは善通寺の「マルヨシセンター」「マルナカ」を覗いてみた

JR松山から香川県善通寺へ



これから「うどん県 香川」に向かうというのに駅でうどんか
「じゃこ天うどん」



予讃線のアンパンマン列車



高松行きにも乗る

多度津で乗り換えて善通寺駅へ

ホテルは善通寺と丸亀の間に予約

これが中途半端で歩ける距離ではなかった

結局タクシーを使うはめに

「乃木館入口」



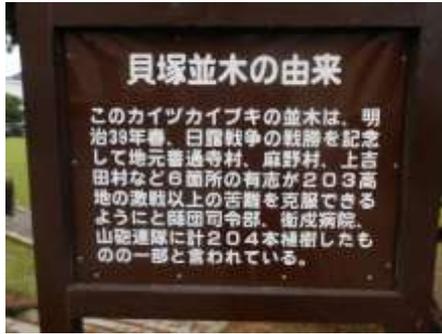
ここは「陸上自衛隊善通寺駐屯地」

その中に「乃木館」がある

「旧陸軍第十一師団 司令部之跡」の石碑



入口で住所と名前を記入して中に入る
こんな並木を通り古い建物へ



明治39年、日露戦争での203高地の激戦以上の苦難を克服できるよう
204本を植樹した一部が残されている
ここが「乃木館」





明治31年 ここに帝国陸軍第十一師団司令部として建設された
 初代師団長は「乃木希典将軍」
 乃木館入口
 入場は無料だが、誰もいない
 トランペットの音が聞こえるだけ



階段を登り2階が展示室
 案内図
 1階は音楽隊の事務所として使われている
 まるで大学の合宿所のような
 普通の博物館とは一味違う 印刷物もない



展示室

 ここは海軍の資料室
 旭日旗とZ旗
 「皇国の興廃この一戦にあり、各員奮闘ど努力せよ」



東郷平八郎と戦艦三笠



秋山真之(左から二番目)



陸軍の写真

右端が「秋山好古」、中央が「山下奉文(ともゆき)」

展示物



杯

あまり気持ちのいいものではない

歴代師団長の写真

初代「乃木希典」から13代「小泉六一」まで



14代「厚東篤太郎」から19代まで



21代から25代まで



第23代に「牛島満」 よく見かける写真だ

鹿児島県出身 沖縄戦で第32軍を指揮 後に自殺

「牛島将軍は、物静かな、極めて有能な人で、全将兵が心腹していた」とアメリカ軍は評価している

一方、多くの一般人犠牲者を出したことによる批判もある

沖縄で聞いた話でもあまり評判は良くなかった

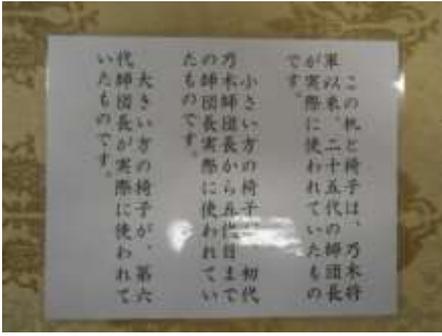
師団長室の机と椅子



歴代の師団長の椅子

机は初代から第25代まで使われた

右の小さい椅子は、乃木大将から5代目まで使われた



日露戦争で使われた「二十八りゅう弾砲」
海軍が東京湾防衛のために備えていた大砲を移動した

二百三高地と旅順港

奥に見えるのが、日本が船を沈めた場所



旅順水師營 ロシア降伏文書後の記念写真
中央が、「乃木希典」と「アナトーリイ・ステツセル」

水師營の会見の説明



旅順の慰霊碑
大理石は、乃木の故郷であった山口県徳山より運ばれたという

「坂の上の雲」の著者司馬遼太郎は、乃木の旅順攻略戦を「愚将」と評しているが、
日本軍の決死波状攻撃がロシア軍の撤退を導いたという評価もある

機関銃で殺しても、殺しても攻めてくる日本軍 いつか殺されるという恐れが残存兵力を持ちながら降伏に向かった

ちなみに、日露戦争で、当時の大蔵大臣高橋是清(明治学院に学ぶ)が、アメリカのユダヤ人銀行家「ジェイコブ・シェフ」からの借金は、

82年後の1986年に完済されたという

これが日本のユダヤに対する信用力の証

山下奉文(ともゆき)の軍服

なぜここに？



山下奉文

高知県長岡出身 「マレーの虎」と呼ばれた

大東亜戦争で、第25軍司令官として英領マレー、シンガポールを攻略

戦後は、マニラで軍事裁判にかけられ、本間雅晴と共に死刑判決を受ける

本間は軍服着用、銃殺刑であったが、山下は囚人服で絞首刑の屈辱であった

その山下奉文の軍服がここに展示されている



出展者の名前



山下奉文の説明

乃木館を後のする

大連、旅順、203高地、シンガポールイギリス軍要塞も訪れているが、いつかまとめようと思っている

外に展示されている兵器

アナログ兵器であるため、今は役に立たない



戦車の覗き窓

軍用ヘリコプター



操縦室の計器はすべてアナログだ

ジェット戦闘機



先頭の空気取り入れ口を覗くと、奥まで続いている

乃木館を後にする



歩いて、善通寺駅に戻る

途中の「護国神社」

今回は、スーパーマーケットを紹介します

善通寺の「マルヨシセンター」と「マルナカ」
「乃木館」から「マルヨシセンター」へ向かう
善通寺には一泊しかしないため忙しい
丸亀城も見なければならぬ



陸上自衛隊の脇を歩く

途中こんな看板が

ノーパンクの自転車だ

「ク」を入れて欲しかった 情けない



さらに進むとマルヨシセンターが見えてきた
マルヨシの本社は香川県高松市
売上高は約404億円(2017年2月現在)
惣菜、PB商品が強い企業の印象



店に入る前に道を挟んだレストランで昼食



ランチメニュー

特選和洋中ランチ 1250 円を注文

定番メニューもセットもの



茶わん蒸し、メイン 4 品、サラダ、味噌汁、香の物

太刀魚のマーラーソース炒め
太刀魚は骨なしで柔らかくおいしい



海老の天ぷら季節の野菜

豚バラグリエマスタードソース



鯉とサーモンのお刺身

大あさりの味噌汁



ロールケーキとコーヒー

和洋中のセットメニューのみ

人口の少ない地域においてはセットメニューが正解

メニューを広げても客数が少ないため、食材のロスが多く発生する

善通寺マルヨシセンター

重厚感あるオシャレな外観

400坪～500坪ほどの中型店

惣菜売場のスペースが広く、惣菜に注力しているが平台が多すぎ感もある



買い物をしてホテルに持ち帰り試食

今晚の夕食と明日の朝食



購入商品

いろいろと珍し物があり、14 点ほど購入

「じゅげむ甲子園ヒーロー揚げ」 258 円

手羽中を半分に割り、一本骨を外したチューリップのような唐揚げ



骨は一本だけだが、チューリップより身は少ない
もう一本はどこに行っているのか

「高知産釜揚げしらすを使った 10 品目のちらし寿司」 298 円

ここもちらし寿司をチェック



釜揚げしらすをトッピングすることで付加価値を高めている
これも具だくさんの「てんこ盛りMD」だ

「希少糖 てっぱい」 278 円

センターから送られる惣菜には「希少糖シール」が貼られている

「希少糖って何ですか？」と聞くと

「とにかくからだにいい」と答えてくれた



てっばいとは香川名物の「酢みそ和え」
しめさばとよく合う

「当店名物ポテトサラダ 小」 138 円



昔ながらのシンプルな材料と味付け

「当店名物 手作りおはぎ 1 個入り」 138 円



もち米、うるち米の潰し方が絶妙
土地柄か塩をあまり使わず少し甘め

オリジナルBOX「希少糖入り本わらび餅」 198 円

自分で切ってきたなこをかけるもの
れんこん澱粉と本わらび粉を使っている



オリジナルBOX「ゆで讃岐うどん 200g」 58円

「うどんだし ストレート」 88円

フレッシュデポ製造のPB商品

ホテルで茹でて食べる

「きざみ葱(高知県産)」 100円

売場には「細切り」と「厚切り」の2種類品揃え

スタッフに「うどんはどちらを使うの?」と聞くと、「細切り」だという



細天 238円

練製品を棒状にした珍しいもの

麻婆ぶっかけこんにやく 118円

糸こんにやくに麻婆ソースをかければそのまま食べられる



淡路島牛乳 200ml 88円

さわやかな牛乳

きびなごケンピ 398円

きびなごに砂糖醤油を絡めパリパリにしたもの



生姜せんべい 100円

生姜味のぜんべい 100円は安い

合計2684円



株式会社マルナカ

香川県高松市に本部を置くスーパーマーケットチェーン

売上高は1777億7000万円

2011年、イオンがマルナカを子会社化、その後山陽マルナカも子会社化

2019年3月1日に「マックバリュ西日本」の完全子会社となった

善通寺のマルナカ

マルヨシセンターのすぐ近く

2階建ての小さなGMSスタイル

マルヨシで買い物をし過ぎたため、あまり買えなかった



「マンナン 漬けマグロ」



香川県木田郡のメーカー



こんにゃくだが出来がいい
マグロのような食感
四国では味付けこんにゃくをよく見かけた
こんにゃくも味付けの時代

ゴーゴーカレー パン
きまっし金沢 金沢カレー協会認定



東京都小平市 第一屋製パン

夕食は試食地獄

一泊して朝から「丸亀城」

昼食は、鶏料理の「一鶴」と「石川うどん」の予定
食べ過ぎ

丸亀「丸亀城」

朝善通寺のホテルを出て丸亀駅に向かう

観光案内所で地図を入手

ロッカーに荷物を預けて、歩いて丸亀城へ



浜町商店街のアーケードを進む

山の上に丸亀城が見えてくる



丸亀城

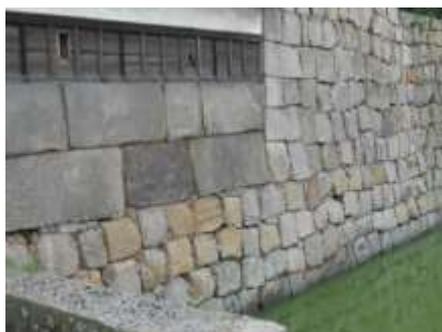
丸亀市街の南部に位置する亀山(標高66m)の平山城
石垣が山頂まで4重に重ねられ、一番高い石垣は22mもある

堀の橋を渡る



お堀

大手門



枡形

大手門と太鼓門の間は枡形になっていて、四方から攻撃できるようになっている
「打ち込み接ぎ(はぎ)」の上に「切り込み接ぎ」その上が木造になっている

太鼓門



石垣の形に合わせて柱が立っている

丸亀城大手枡形の説明



国定史跡丸亀城跡館内図

丸亀城の年表



「見返り坂」

約10度の急こう配の坂が150m続く

見返ると、左にボランティアガイドが居て「案内しましょうか」と声をかけてくれたお言葉に甘えて、話をしながら坂を登る

こんな石垣が4層もある



二の丸に向かう

二の丸



瀬戸内海

飯野山

標高422m 讃岐富士とも呼ばれる山



二の丸井戸

深さ65m 今も水が沸いている



井戸を作った者は後に殺された
井戸にからくりがあったのでは
水手櫓の近くの井戸は空井戸になっているが、抜け穴伝説が残る

天守が見えてくる
大手門の反対側



四角が4つの京極氏の「四つ目結紋」

内部



構造

地震によって崩れた石垣

現在補修中



鉄砲穴

おもしろいのは引き戸がついていて、必要ない場合は閉めておく合理的だ

大砲の穴 普段は塞がれている



ひうち梁



3本の柱でハリを支えている



最上部の「太鼓壁」

漆喰を厚く塗り防御をかためている



祈祷札

天守最上階の壁に中から発見された
天守にはこうしたからくりがある

瀬戸内海を監視する役目もあった



ガイドは天守の外観の違いを説明してくれた
自分の領土の向きは、窓が3つで微笑んでいるように見える



敵地を望む方向には窓が4つで「京極氏の家紋」をイメージしているという

さらに、城の基礎は大手門に向かい少し上げてあるという



石垣の刻印

「九」「左」「田」「井」などの刻印が見られる



石切り場や調達した者の刻印

石工はどこでも印をつけたがる

石垣



排水溝

長い石垣はダムのように「U字型」になっている



大手門に向けた天守

これが城の正面

睨みを効かせているように見える

削りかけの石

上の部分は角を削ってあるが、下の部分は膨らんでいる



削る目安の線が引いてあるが、忘れたのか削られていない
こんな細かいところまで説明してくれた

案内所まで戻り桃アイスを食べる



小冊子を買って復習する

城マニアではないが、せっかくの機会だから訪れた

1時間くらい付き合ってくれた

ガイドさんいろいろ見られないところを案内していただき、ありがとうございました

ここでも「おもしろい人に合えてよかった」と言われる

駅に戻り「一鶴」に向かう

「一鶴丸亀本店」

創業1952年

骨付鳥発祥の店



幸い行列はできていない

骨付鳥 一鶴



店内の様子

ゆったりとしたカウンターに座る



メニュー

骨付鳥 おやどり 1008円 ひなどり894円
勿論「おやどり」と「おにぎりセット」を注文

ぶすび3個(スープ付き) 308円と良心的だ



キッチン内部(許可を得て撮影させていただいた)
スタッフ1名で6台のオーブンを操作し製造
慌てている様子は見えない

オリジナル特性オーブン
金属バットに鳥をのせオーブンに入れている
下のガス調整つまみに注目



骨付鳥とぶすびセットが出てくる
キャベツもついている
ナプキン3枚は鶏を持つための物
スタッフが3枚くらいがちょうどいいと教えてくれた



銀皿は熱くないということは、移し替えている

特性ダレに漬け込んだ鳥がセンター送られてくるという

表面はパリパリ

にんにくの風味がよく合う



裏返してみる

皮がしっかり焼けていることから、オーブンの上と下に熱源があることが分かる

おやどりであるため硬めだが、ゆっくり噛みしめると味がある

専用タレはにんにくをタップリ使い香ばしくおいしい



食べ方

おにぎり、キャベツはタレにつけて食べるようだ

脂が多いため少しにした このタレで炒飯をつくったら最高においしいと思う

EMPTY DISHES

確かにタレがもったいない



合計 1316円

「石川うどん」

JR丸亀駅から徒歩1分 一鶴の脇の道を進む



ここも歴史がありそうだ
だしとかえしの組み合わせが絶妙

店内のカウンター



壁の色紙

メニュー

かけうどんが320円



香川県観音寺市のちくわメーカー

うどんとちくわ天ができた

うどんの丼は松山の「砥部焼」



かけうどん

普通だしの香りが先に立つが、ここは醤油のいい香りが先に来る

うどんは中太麺で茹で時間は10分ほどだった

ちくわ天2本150円



手前が冷凍ちくわ 置くが観音寺のちくわ

150円と安いのはいいが、食べ比べはいかがなものか

自信のある一品でいいと思う

EMPTY DISHES

一鶴の本付鳥定食とちくわ天うどんを完食
さすがに食べ過ぎ感はある



合計470円と安い

午後電車に乗って徳島に向かう



翌日は徳島のスーパーマーケットを視察予定

7月末に徳島を訪問した時のレポートです
今日7月11日は徳島「阿波踊り」の前夜祭だ

丸亀から徳島へ

丸亀駅から高松駅を経由して徳島駅へ



レンコン畑

徳島はレンコンの産地

徳島駅

ホテルは徳島駅前を予約

駅に近い方が少し高くても動きやすい



早速歩いて近くのスーパーマーケットを視察

駅前の道を直進

アーケードを進むと



「がんばりや」の看板

隣の店舗にも拡張している



何で「がんばりやにんにく店」なの？

私は「にんにくみたいな人間になりたい」と思いを命名しました」と

店の印象は「肉のハナマサ」のような肉の強い店

惣菜の手づくりも魅力的だ

ここもちらし寿司が売れ筋



購入商品

「これは うまい ちらし寿司(小)」 1パック 200円

徳島のちらし寿司には金時豆が入っている

これが安くてうまい



「あら！いいね 助平」 1パック 199円

太巻寿司2貫、バター押し寿司2貫

徳島の太巻寿司には茹でた人参が入っている

「小松島名産」とあるが、品名が分からない

裏の表示を見ても「魚肉、パン粉……………」としか

魚のすり身フライ

地元の人はずぐに分かるようだ



身は薄い、これがうまい

「わらび餅」 1パック 278円
550gもあるわらび餅 小豆入り
包丁でカットして食べるもの



まだまだ買いたいものはあったが、次の店があるのでこれくらいにしておいた
「栄町」という通りを進む



こんな通り

昼間から風俗店の呼び込みが

「KYOEI」の看板が見えてくる

「キョーエイ」は、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストアなど徳島県中心に32店舗を展開

徳島県ナンバーワンのスーパーマーケット

売上高は388億円(2017年2月)



入口に入る

しっかりと商品管理されたスーパーマーケットだ

購入商品

ここでもちらし寿司 1パック 190円

結局、四国3県のスーパーマーケット、デパートでは必ずちらし寿司を購入したことになる
それだけ、名物商品なのだ



キレイに丁寧に盛り付けられている
見事だ

「そうめん気分」 138円

なぜそうめん気分なのかは分からないが、
「今日はそうめん気分だ」



「焼くだけ」 4個入 1パック 128円

これは前から売場で気になっていた商品、何処のスーパーでも置かれていた
厚揚げを焼くだけの商品だ

「金ごま豆腐」

レシートにはない

これはどこで買ったか覚えていない



ごま豆腐を「田楽みそ」で食べるという贅沢品
徳島のおでんも味噌で食べる
これって新しい食べ方かも

淡路島牛乳100円、淡路島コーヒー88円
木次(きすき)のミルクコーヒー100円も



「なると金時 よもぎまんじゅう」 1パック 250円
これも名物菓子



金時芋入りと小豆いり

「たまごケーキ」 3個入 110円
着色料は使われていない



徳島らーめん 1カップ128円



カップ麺だが、味は本格的
スープがおいしい

「鯨の大和煮」 1缶 288円



「瓦せんべい」 1袋 498円

愛媛の名物菓子だが、お土産用として購入

「芋けんぴ」 1袋 218円

これも四国の名物商品

これもお土産用



徳島のスーパーマーケットがまだあるが、
「ドイツ館」と「ドイツ公園」へ行ってきました
徳島駅から電車で坂東駅へ



四国の鉄道地図

ホームから見えるラジオ体操
日本が世界に誇るいい習慣だ



坂東駅に向かう車窓もレンコン畑

坂東駅に到着
ここから歩いて行けないことはないが、
省エネのため、タクシーで「大麻比古神社」「ドイツ橋」へ向かう
坂を歩いて登るより、坂の上から歩いて降りる方が楽だ

「大麻比古神社」⇒「ドイツ橋」⇒「ドイツ館」⇒「ドイツ公園」⇒「道の駅」⇒「賀川豊彦記念館」⇒
「霊山寺」⇒「坂東駅」を歩く予定
しっかり見れば、1日コースだ



タクシーで大麻比古神社へ向かう途中の「霊山寺」
ここは後で訪れる予定



四国第一番 霊山寺
ここは四国参りの一番札所だ

大麻比古神社へ向かう橋
その前には多くの石灯籠があり、夜には点灯される
外国人観光客に人気の場所だとタクシードライバーは言う



大鳥居
観光客はほとんどいない

御神木



何やら珍しいフクロウのような石造



「開運招福」と書かれている

大麻比古神社

由来は、「社伝によると、神武天皇の御代に天太玉命(大麻比古大神)の子孫が肥沃の地を求めて全国各地を巡り、阿波国に至り麻布、木綿を作り、殖産興業の基礎を築いた 大麻比大神を祀った神社」



本殿



天皇家の「十六花卉」



社務所



ここで、孫3人の「子育て御守」を買う
神社は領収書は発行しない



案内図



本殿の裏側の「心願の鏡池」
その奥に石でできた「めがね橋」が見える

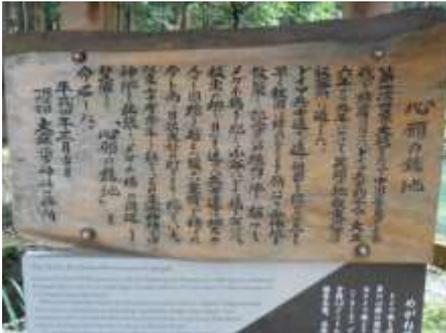


ドイツ橋

第一次世界大戦当時、坂東捕虜収容所のドイツ人捕虜が、地元への感謝の気持ちを込め、大正6年(1917年)～大正8年(1919年)まで10個(石橋4、木橋6)の橋を造ったうちのひとつ丁度、100年前だ

心願の鏡池

ドイツ兵士が早く故国に帰れるように願った池



大きくはないが、100年経った今も現役で使われている

和泉砂岩(撫養石)で造られているという



小さな池だが、今も水を溜めている

「丸山稲荷社」に向かう鳥居



こんな景色を道を進む
よく整備されている

今は通行止めになっている
たぶん、欄干がないため危険と判断されたためか



ドイツ橋説明

「国境を越えた人間愛と友情」

バターやチーズの製法、博覧会の開催、楽団による演奏会等地元の発展に大きく貢献した
帰国を前に記念として母国の土木技術を生かし近くで採れる和泉砂岩を使ってドイツ橋が造られた

左側に見学用の橋が設けられている



下流から上流の景色

100年の歴史を感じる



上流から下流



中を覗いてみると、石を台形型にカットし、アーチ状の組み合わせている
奥に見えるのが仮設の橋

近くには「ストーンサークル」のようなものが



藤棚

口紅藤

静岡県清水市が原産地の天然記念物

この藤ははその分かれ木と書かれている



ドイツ橋もこれだけ保存されているのは、大麻比古神社が管理していたからだ
他の 8 個は無くなってしまったという



ドイツ橋から歩いて「ドイツ館」へ向かう
下り坂なので歩くのが楽だ

今回は「ドイツ館」と「ドイツ公園」を紹介します

坂東の「鳴門市ドイツ館」

1917 年から 1920 年までの 3 年間、中国山東省青島にいたドイツ兵士捕虜約 1000 人が「坂東捕虜収容所」で過ごした



坂東の「第九の里」マップ

奥が農産物直売所

その左が生協の父「鳴門市賀川豊彦記念館」

ここは後で紹介します



ユネスコ「世界の記憶」登録へ

ドイツ、日本、国連の旗



「松江豊寿(まつえとよひさ)」像

1872 年 若松県若松市甲賀町で旧会津若松藩士の長男として生まれる
弟春次は後に「南洋興発社長」となる
後で解説

1889 年 仙台陸軍幼年学校入学

1904 年 日露戦争で歩兵大尉として韓国へ

1914 年 坂東捕虜収容所所長に着任

1918 年 6 月 1 日収容所内で「第九交響曲」を演奏

1920 年 捕虜ドイツに帰国

1922 年 会津若松市長に就任

1956 年 東京都狛江村で逝去 83 歳



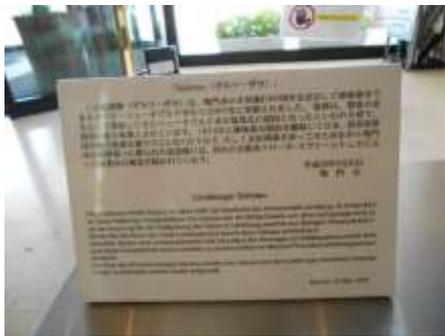
ベートーベンの像

坂東捕虜収容所でヘルマン・ハンゼン指揮による「TOKUSHIMA オーケストラ」による
ベートーベンの第九が日本で初めて演奏された



第九の楽譜

ザルト・ザウ(塩猪)



姉妹都市であるドイツ リューネブルク市から 2007 年に寄贈されたもの
塩発見の起因となった猪で、「富の象徴」とされている

館内は写真撮影禁止だが、いろいろと事情を説明して撮影を許可された
学芸員が 1 時間も熱心に館内を説明してくれた
お互い中国の青島を訪問しているので話が弾む



館内の展示品

坂東捕虜収容所のジオラマ
右下が入口で中央は兵舎
パン工場、ハム工場、ビール工場もあった



左下の細長い建物は1レーンの「ボーリング場」



左上の一戸建ては将校が住んでいた家

ドイツ公園は右側だけが残り、左半分は団地になっている

上の池の右側にドイツ人墓地

第二次世界大戦後はここは満州からの引揚者住宅となった

野球で有名な「坂東英二」もここで育った

薪拾いに行った高橋さんが草むらの中の墓を見つけ、ずっとドイツ人墓地の墓守を行っていた

戦後ここで生活したドイツ人が訪れ、墓がキレイに整備されていることに感動したという



当時の兵舎

中ではビールも飲まれていた



松江豊寿の軍服

ガリ版印刷機で新聞も発行していた



絵葉書も

収容所で使われていた1円札 捕虜には本国から給料が出されていた



手づくりのマンダリン



鈴木メソッドのバイオリン

ステージでは人形が第九を演奏



博物館から頂いた資料

まだまだいろいろ書きたいがまたの機会に

いろいろと説明していただいた学芸員の方に感謝、感謝

ここでも「おもしろい人にお会いできてうれしい」と言っていた

会津若松 鶴ヶ城博物館の「松江豊寿」(2018年7月訪問)

戊辰戦争の敗戦で、一家で斗南藩(現陸奥)へ移住



サイパンの松江豊寿の弟「松江春次」の像(2011年12月訪問)



松江春次(1878年～1954年)

福島県会津若松生まれ

南洋興発株式会社初代社長

北マリアナ諸島を1920年代に開拓し、製糖事業を成功させ、「砂糖王」と称された日本人事業家

2003年10月

サイパンで偶然撮影したが、「松江豊寿」の弟とは分からなかった

さらに、会津中学時代「野口英世」と親交があったという

世間は狭い

棟田博著「坂東捕虜収容所物語」

日本人とドイツ人の国境を越えた友情



中国青島の「青島山砲台跡」(2012年5月訪問 最後の写真の右下に訪問日表示)



砲台跡だが、その場所は金属製のトーチカが置かれていた

青島山からの景色



青島ビール

青島は 1898 年からドイツの租借地となった

1903 年 ドイツ人投資家がゲルマンビール会社 青島株式会社を興しビールを製造する

1914 年 ベルサイユ条約により、日本が租借地を引き継ぐ

青島ビールは、大日本麦酒が引き継ぎ経営を行う 現在はファンドが経営

旧市街でバームクーヘンの「ユーハイム」の店の跡地を探したが見当たらなかった

カール・ユーハイムは大坂、広島 of 捕虜収容所にいた

広島の「広島県物産陳列館(原爆ドーム)」でユーハイムはバームクーヘンの実演を行ったことがあるという

皮肉なことだ

日本に送られてきた捕虜 4000 人(坂東は 1000 人)は、職業軍人だけでなく一般人も含まれていた

青島のドイツ町がそのまま日本に引っ越してきたようなもの

松山には「日露戦争のロシア人捕虜収容所」、徳島には「第一次世界大戦のドイツ人捕虜収容所」

どちらも地元の人と交流し交際交流を深めた

学芸員曰く、「松山」での待遇は、ロシア人からドイツ人へ伝わっていたという

しかし、ロシア人とドイツ人とでは文化レベルが全く違っていたらしい」と

次回は「農産物直売所」と生協の父「賀川豊彦記念館」を紹介します

「ドイツ館」近くの「第九の里物産館」



隣は「手打ちうどん」

「金時芋棒」 8 本入 180 円 芋ケンピみたいなもの
四国では「さつま芋」とは呼ばず「金時」と呼ぶ
歴史的に薩摩とは因縁があるかもしれない
うどん 380 円 わかめうどん 430 円 ちくわうどん 430 円
後で思えばここで食べておけばよかった



物産館の店内
よくある土産物屋だ

くだもの
どこにでもある道の駅のようなが



ドイツビール

レンコンチップ



ドイツパン ミルヒコルンブロート

その他 ドイツソーセージも



ここの人気ベスト4

スタッフが売場を案内してくれた

第1位「なると金時」 5本 540円
生の金時

第2位「生わかめ」 1袋 324円

チルドの生ワカメ



第3位「ザすだち」 1本 100円

缶入り清涼飲料水

第4位「れんこんチップス」 1袋 380円



「甘酒スモーザー」 各種 1 パック 150 円

これはおもしろい商品

「ゆずジンジャー」 221 円を購入して外のベンチで飲んで一休み



隣の「賀川豊彦記念館」

徳島県鳴門市大麻町

平成 14 年多くの人の寄付によって造られた

外観はドイツ兵捕虜によって建てられた「船本牧舎」をモデルにしている



徳島県が生んだ世界の偉人

「鳴門市賀川豊彦記念館」

「愛は私の一切である」



記念館の入口

賀川豊彦は鳴門市が生んだ世界的偉人

「彼が「友愛、互助、平和を説き、一貫して社会的弱者のために、常にその時代の最も重要な課題に正面からとり組みました」

身近なところでは、生活協同組合運動に取り組んで大成させた

「生協の父」



案内パンフレット館内の紹介



「賀川豊彦」(1888年～1960年)

賀川は明治 21 年に神戸に生まれた
4 歳の時に両親を亡くし、父の実家のある鳴門市大麻町に引き取られた
明治学院高等部神学予科を経て、神戸神学校に進学した
明治学院の「Do For Others」の考え方を生涯通す
神戸にスラムに住み救済活動を行う
後にアメリカプリンストン大学に学ぶ
そこで生活協同組合の基礎を学ぶ



生涯の支えとなった妻ハルと賀川の写真
戦争のない世界平和を求めて活動し、ノーベル平和賞候補に 4 度推薦されている

賀川の信念



ロスアンゼルス「カガワ・ストリート」
ロスアンゼルスを訪れた賀川は大歓迎され、それを記念して名付けられた



「ワシントン・ナショナル大聖堂の賀川豊彦像」
アメリカを代表する教会の回廊の賀川の彫像

ジョージ・ワシントン、リンカーン、シュヴァイツァーらとともに設置されている

談話室か



壁にはこんなステンドグラスがあり、印象に残る

Do For Others

「Do for others what you want them to do for you」(マタイによる福音書 7章12節)

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたががたも人にしなさい」

今回は、今も残る坂東捕虜収容所跡「ドイツ公園」を紹介します

ドイツ公園

「坂東捕虜収容所跡」「第九日本初演の地」と書かれている

上の部分に金属でデザインが



右半分は現在も跡地が保存されている



ドイツ館展示のジオラマ
 右半分を歩いてみる
 左側半分は団地になっている



兵舎があった場所
 兵舎跡



基礎部分
 ここにもドイツ橋
 これは後からドイツ橋を模して造られたもの



鳴門市長の挨拶文

100 年前の給水塔



コンクリートでできた給水施設



8 棟のうち 4 棟にそれぞれ「厨房・浴室棟」と「給水施設」が設けられていた

酒保付属便所



酒保(しゅほ)とは軍事施設の中にある日用品・飲み物等などの売店
日本製のビールも販売されていたという
隣が便所になっていた

パン製造所跡



捕虜の日常食として支給するパンを製造する施設があった
高さ2mのレンガ造りの窯が建設されていた

二つの池がある方向に向かう



最初の池は水草で覆われている
その上の池



池の端に石碑が見えてくる
手前は慰霊碑



ドイツ国民の慰霊塔

1976年11月14日に、ドイツ連邦国総領事と鳴門市長によって除幕された

ドイツ兵の墓

ここは、地元の高橋敏夫さんの母が、薪を拾いに行つて古びた石碑を発見した

その後敏夫さんが70年以上墓守をしていた場所

四面にドイツ人11人の名前が刻まれている

約1000人の捕虜の中、亡くなったのはわずか11名

それも当時流行したスペイン風邪であつたらしい

いかに人道的な収容所であつたかが分かる



ドイツ兵の慰霊碑

1919年、ドイツ人捕虜自身によって建てられたが、その後手を入れられることなく荒れ果てていた

こんな野の花が咲いている



池の周りを歩いてみると

「赤十字ゆかりの地」の碑

「国境を越えた博愛の心がここにあつた」

「鳴門市・会津若松市親善交流都市締結十周年記念植樹 赤松」

これは、会津若松出身であつた「松江豊寿(まつえとよひさ)」の人道精神によるもの



坂東捕虜収容所の入口ゲート

同じドイツ人がなぜ？

ポーランド「アウシュビッツ(ビルケナウ)第一強制収容所」の入口(2014年10月訪問)

「ARBEIT MACHT FREI」

「働けば自由になれる」の文字

同じドイツ人がなぜと、思うかもしてないが、強制収容所にはユダヤ人だけでなく

政治犯、ロマ、精神障害者、同性愛者、捕虜、聖職者、エホバの証人なども含まれていた

ナチスのファシズムに対して抵抗した人々も多くいたはず



ドイツ ミューヘン 「ダッハオ強制収容所」(2015年5月訪問)

ここにも同じ文字が

8月15日は「終戦記念日」

戦争について考えさせられる

ファシズム(全体主義、排他的政治理念)が人の心を変えてしまうという恐ろしさ

自分の意見をはっきり言える自由があることを忘れてはならない

ヒトラーの最後の言葉

「100年も経てばすぐに忘れられてしまう」

歴史を学び同じ間違いを絶対に犯さない

「ドイツ公園」から「霊山寺」へ



「ドイツ村バス停留所」



「バルトの楽園ロケ村」「バルトの庭」

ここはバスして宝山寺に向かう



途中の田んぼを覗くと、「タニシ」がうじゃうじゃ
昔はよく食べたが今はだれも食べないようだ

「レンコン焼売」で有名な店



「レンコン農家が夏季休暇の為、レンコン料理は休止しています」とのこと
残念！

こんなアジサイが



再び霊山寺



「日本遺産 四国遍路」



外国人の女性お遍路が

四国八十八カ所巡りの全長は1400km

キリスト教の三大聖地 スペイン北部の「サンチアゴ・デ・コンポステーラ」

フランスからピレネー山脈を越えてサンチアゴ・デ・コンポステーラまでは約1000km

スペイン国内は約800km

四国八十八カ所巡りがいかに長いかが分かる

蓮の花がキレイだ



宝山寺は一番札所であるため、記念に御朱印と御影袋をいただく



「四国第一番」

ここをまっすぐ進めば霊山寺



坂東駅に戻る

周りは何もない

食堂がポツンと1件

うどんはすでに売り切れ

仕方なくお好み焼きを注文

食事場所は事前に調べておいた方がいい

なぜか2枚出てくる

理由は大きいからだという



1 枚目はマヨネーズをトッピングをしていただくが、何か違う

2 枚目はマヨネーズ無し
よく中身を見ると



金時豆が入っている
これは初めてだが、あっても邪魔にならない
徳島は、チラシ寿司、お好み焼きまで金時豆を使うようだ

「いなり寿司」は「きつね寿司」という



壁のポスター
同じ店にいた女性はこの歌手の親
マネジャーも兼ねているらしい



もう一人は、このポスターの本人
長居すると、CDを買わされそうなので、早速退散

徳島駅に戻る

夕飯は徳島料理で有名な「けんと茶屋」へ向かったが、定休日



前に、店の前を通った時「徳島そば」と書かれたそば屋も定休日

駅前の居酒屋

ここに入る勇気はない



ラーメンも気が進まない

酒と飯の「ひら井」

お腹が空いていたせいか、「井」と「井」を間違えてしまった



メニューを見ても名物「ひら井」らしきものはない

仕方ないので、まず「おでん」と「ハイボール」



大根、牛筋、じゃこ天
辛子みそで食べるおでんがおいしい

看板メニューの「ネギ餃子」



焼き餃子にポン酢をかけ、刻み葱をたっぷり載せたもの
パリパリ感は欠けるが、おいしい

特産品の「金時天」と「レンコン天」
乱切りの金時天がホクホクしておいしい



じゃこおにぎりと肉のスープ

スープは塩味は殆どないが、おにぎりと佃煮の塩味があるのでちょうどいい



しばらく店主と話をさせていただく

愛媛、香川、徳島といろいろ食べ歩いたが、何を食べてもおいしい

タクシードライバーも「旅行で日本各地に行っているいろいろ食べたが、四国が一番おいしい」という

私も同感だ

瀬戸内海は、地中海と同じで、オリーブやかんきつ類が獲れ、海の幸も豊富だ

翌日、徳島空港に向かう



空港内のラーメン屋



徳島ラーメン



こってり系のラーメンだ

エスカレーターを上がれば、「マルハ物産」看板

れんこんの取り扱い量日本一の企業だ

社長には、日本惣菜協会で大変お世話になっている

今回は時間がなく寄れなかったのが残念



後日、「徳島風お好み焼き(実際はないと思うが)」をつくってみる



お好み焼きの具に、すでに味付けされた、レンコン、金時芋、金時豆をトッピングしてみた

材料はサイコロ状にカット

同じように 2 枚に分ける



裏返して焼くと少し焦げる

出来上がり

新しいタイプのお好み焼きだ



今回は、台湾 高雄もレポートします

三菱一号館

東京駅

前に仕事でこの辺に来た時に気になっていた場所に向かう



東京駅を背にして左方向に歩く

二階建てツアーバスの停留所



レンガ造りの建物が右に見えてくる

ここが三菱一号館 歴史資料館

入場無料(10時~18時)



三菱一号館

これは明治の建物を再現したもの

あの有名な建築家がつくったものを再現

屋根や煙突も当時を思わせる



中庭に向かう



ブリックスペース

東京のど真ん中にこんな公園が



隣のビルからの景色

スケッチをしたり、お昼を食べたり

正面が三菱歴史資料館入口



入口

この銅像は誰？



なんとあの

「ジョサイア・コンドル」(1852年～1920)であった
ロンドン出身 建築学教授として現東京大学工学部で教える
鹿鳴館、ニコライ堂、三菱一号館、二号館などを手掛ける

展示室



当時の三菱マンのスタイル

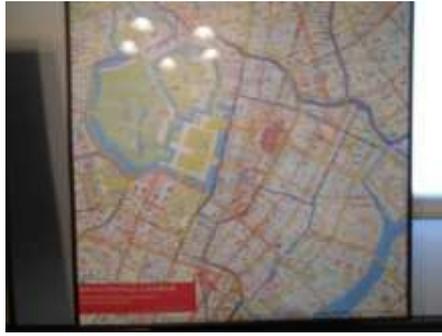
三菱一号館のレプリカ



再建の様子

明治の皇居付近の地図

日比谷公園は軍の施設になっていた



今の東京駅付近
外堀は埋められている

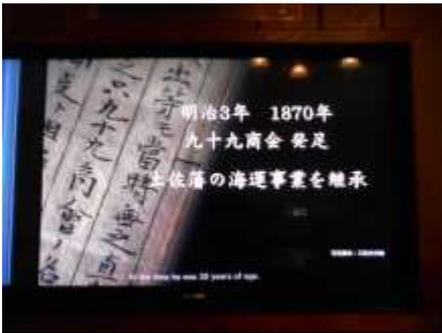
岩崎弥太郎と三菱の歴史(ビデオより)

坂本龍馬(1836年～1867年)の「亀山社中」のことは語られていない

岩崎弥太郎は坂本龍馬より一つ年上

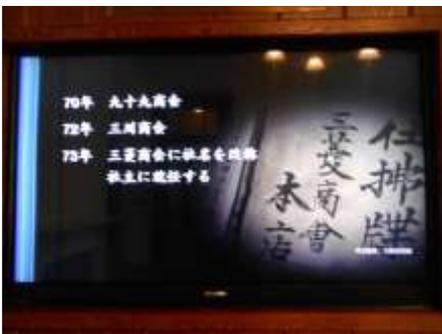
1870年(明治3年) 九十九商会 発足

土佐藩の海運事業を継承



1871年(明治4年)「廃藩置県」により土佐藩消滅
九十九商会を引き継ぐ

1873年「三菱商事」に社名を改称



三菱四代社長

初代社長 岩崎弥太郎(1873年～1885年)

第二代社長 岩崎弥之助(弥太郎の弟 1885年～1893年)

第三代社長 岩崎久弥(弥太郎長男 1893年～1916年)

第四代社長 岩崎小弥太(弥之助長男 1916年～1945年)

その後、GHQの財閥解体

三菱ゆかりの名品



「ジョージ・アーネスト・モリソン」

オーストラリア出身の旅行家、歴史研究家

モリソンが収集した極東に関する文献「モリソン文庫」を岩崎久弥が買い取り「東洋文庫」のもととなった

カフェ1894

イギリス式の1階の下に半地下室がある造り



1894 と書かれている

中の様子



当時の銀行のカウンターを再現したカフェ
奥が金庫跡、回廊がある

当時の写真



高い天井と柱

昼は満席

予約しなかったがどうにか席が取れた



ランチメニュー

コースターにも1894



蟹のナポリタン



ナポリタンは、茹で置きしたスパゲッティとトマトケチャップを和えたもの
日本特有のパスタ料理 横浜ホテルニューグランドが発祥と言う説が有力
グリーンサラダ



デザートとコーヒー ランチのチーズケーキ
支払いは 2700 円くらいであった



2 時からアフタヌーンティー



ランチとメニューを変えている

夜のメニューもを見せていただいた
今度は夜来ます

敷地内には「ジョエル・ロブション カフェ」も



以上、明治の臭いがする「三菱一号館」の紹介でした

今度は三井物産歴史記念館へも行ってみたい

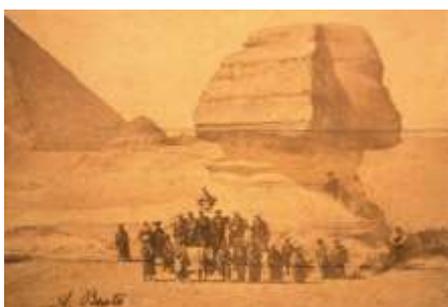
三井物産の創業者は「益田孝(ヘボン塾で英語を学ぶ)」

よく見るスフィンクスの前のサムライの写真(1864年 江戸幕府の岡田遣欧使節団 アントニオ・ベ아트撮影)

左前列2人目の陣笠を手に持っている者が、父益田鷹之助、その後ろで横を向いているのが益田孝

ちょんまげを切り、刀を捨てそろばんに持ち替えた

幕末から明治は、サムライから経済人へと変わっていく時代でもあった



「岩崎」と「益田」

歌手の「岩崎宏美さん」の元夫の苗字は「益田」

益田さんは三井物産創業者益田孝氏の玄孫(孫の孫)

現在は三菱商事に勤めているという

何の因縁か

岩崎弥太郎が生まれた高知県安芸に行ってきます

またレポートします

高知にいます

四国特集 愛媛、香川、徳島の続きです

今回はANAで高知まで

今回も台風が近づいている



昼食は崎陽軒のシウマイ弁当

姿は少し変わっているが、1954年から販売されているロングラン弁当



シウマイ 5 個、鶏の唐揚げ個、たまご焼き、赤かまぼこ、キハダマグロの照焼、タケノコ煮、アンズ、青梅、昆布の佃煮、紅生姜、ごはん、黒胡麻

ご飯はまだ少し温かい

もちもちで、もち米が入っているような食感

時々食べたくなる飽きない非常のバランスのよい弁当

機内のイヤホン

「ご自由にお持ちください」と書かれている



高知市内のホテルからの景色

夜まで時間があるため歩いて歴史的人物の生家を訪ねる
近くにはスーパーマーケットはない ホテル近くのアーケード



ひろめ市場 入口右側にアサヒビールの宣伝



高知県とキリンビール

キリンビールの前身「ジャパン・ブルワリ」は、
長崎のグラバー商会の「トーマス・グラバー」と岩崎弥太郎の弟「岩崎弥之助」が中心となり設立
グラバー商会はその後倒産し、三菱の傘下に入る
長崎グラバー邸の「キリンの像」(2015年7月訪問 以下展示物より)



グラバーとキリンビール 1885 年創業



グラバーと三菱 1881 年グラバー商会倒産 三菱の傘下に

写真はグラバーと岩崎弥之助(弥太郎の弟)

すっかり、キリンビールの宣伝になってしまった

ひろめ市場内部



フードコート

世界の市場とフードコートはずいぶん見ているので、珍しさはあまりない

さっと見て外へ出る

ホテルでもらった地図を見て街歩き



ひろめ市場の前のアーケードを直進

「板垣退助誕生地」

板垣退助(1837年～1919年) 政治家、実業家

土佐藩「乾正成の嫡子」

乾家は、武田信玄の家臣であった 山梨とのつながり

坂本龍馬とは親戚、後藤象二郎とは竹馬の友

「自由民権運動」の主導者



祠の中

「後藤象二郎誕生地」

後藤象二郎(1838年～1897年) 政治家

高知城下の片町に生まれる(板垣退助の生家のすぐ近く)

少年期に父を失い「吉田東洋」に育てられる

今は保育園になっている



碑があるがあまり読めない

鏡川の天神大橋



「西唐人町」

1592年、豊臣秀吉の朝鮮出兵で、長曾我部元親により、土佐に連れてこられた城主(パク・ホイン)ら30人がここに住み、山之内一豊が土佐入国後豆腐商いをする特権を与えられた
長曾我部は信濃国の渡来人「秦一族」の出身

河辺を歩き「山内神社」へ



山内神社

境内 家紋は三葉柏
これが、三菱商事のマークに繋がる



山之内容堂の像



大政奉還を行った人物

「山之内家下屋敷長屋」



反対側から見た長屋

中には入れないが、説明文が



「山之内容堂 西郷南洲(西郷隆盛)会見の地」

西郷の説得により上洛

明治維新回天の基礎を確立した

重要文化財 旧山之内家 下屋敷長屋



高知城を眺めながら、坂本龍馬の生家跡へ向かう

大黒様と因幡の白兔像



「坂本龍馬誕生地」の看板
坂本龍馬の生家は少し離れている

説明文



記念碑

「坂本龍馬」(1835年～1867年)



土佐藩郷土の家に生まれ、脱藩した後は志士として活動
貿易会社と政治組織を兼ねた「亀山社中」を結成
その後の「海援隊」で岩崎弥太郎は経理を担当する
薩長同盟に協力し「明治維新」に関与した
長崎「亀山社中跡」(2015年7月訪問)



近くのベンチ



すっかり暗くなり、ひろめ市場に戻る

目の前の居酒屋で夕食

高知名物「かつお」「うつぼ」「あおさ」「しらす丼」をいただく 高知の名物料理



ひろめ市場 ひろめ市場の目の前の居酒屋

中に入ると予約で満席だが、カウンター1席だけ空いていた



なぜここを選んだかと言えば「須崎 宿毛(すくも)直送のかつお」と書かれているから

店内はまだ客が少ないが「予約席」と書かれたスタンドが



メニュー

「かつおのたたき 塩 1700 円」

聞いてみると 5~6 切れ盛りだという

周りに比べていい値段だ

まず「ジャックダニエルのハイボール」



目の前で鰹のわら焼きをしてくれる

ワラに火をつける

最初の炎は白色



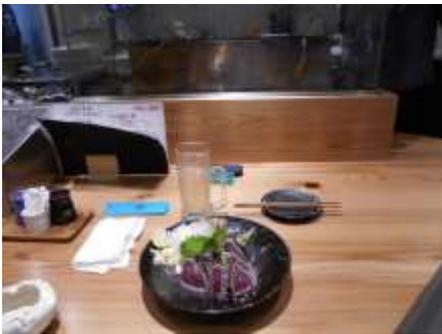
串に刺したかつおを焼く

炎の色が赤くなる

弱火になるとまた白色になる



表面を焼いたカツオ
焼台の目の前のカウンター



つま、にんにくスライス、刻み生姜、ワサビ漬けが添えられている

冷していないため、中は温かい
うまく焼けている
まだ脂はそんなにのっていない



こんな感じでトッピングして食べる
冷凍と違い、食感はネチネチ

アオサの天ぷら
これも塩



時間が経てばパリパリ感が無くなる

「ウツボの竜田揚げ」



これも塩

独特な食感 考えてみたら、全部塩味 注文したほうが芸がない



閉めは、これも名物の「しらす丼」とアオサの味噌汁
大きさを逆にして欲しかった



周りは鯉節 たっぷりのしらす
醤油とワサビ漬けていただく

EMPITY DISHES

完食 また食べ過ぎてしまった

合計 4800 円ほど

最初から少し飛ばし過ぎの感あり



今回は、高知で話題のスポット「とさのさと」をレポートします

JA の直売所とサニーマートが隣同時に営業

偶然にも JA の飲食施設「とさのさとアグリコット」が 9 月 20 日にオープンした

「内食」「中食」「外食」が揃った複合ゾーン

全国的に注目されているエリア

高知 とさのさと

JA高知の道の駅とサニーマートの複合商業施設



サニーマートの右側がJAの道の駅



JA高知県の「道の駅」入口

AGRI COLLETTO 道を挟んだ反対側に外食と物販施設がオープン



入口

9月20日にグランドオープンした

この情報は知らなかったが、偶然オープン初日に行くことができた



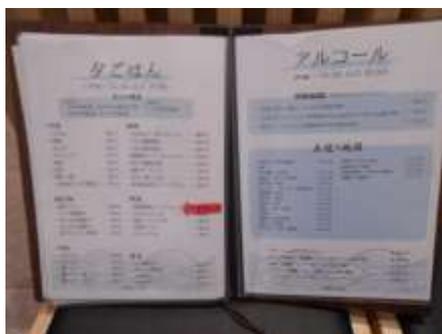
高知の「食」「地域」「自然」の発信拠点がコンセプト

3店のレストランと5店の専門店が入っている



まずレストラン

「いちじゃもの」



昼は地場産 ビッフェレストラン

夜はつまみとアルコール

「安芸しらす食堂」



安芸市名物 ちりめん丼の店

安芸はしらすと、なすの産地

生しらすは高知では「ドロメ」と呼ぶ

「がろ〜」



須崎市名物 鍋焼きラーメンの店

残ったスープで雑炊がお勧め

ここまでは椅子、テーブルがあるレストラン

残りはテイクアウトの専門店 5 店

店で買ったものを中央のテーブルと椅子で食べるフードコート



日曜市の「いも天」

日曜市名物のいも天の店

一口タイプのいも天 1 袋 250 円

「Volver ボルベール」

ピザ、ジェラートの店



「華点心」

中華まん、焼売などの中華点心の店

「野菜・タルト」

自社のトマトを使った料理



「久保田アイス」

高知のスイーツとアイス

セレクトショップ



アルコールやつまみ類も

冷凍スイーツ



冷凍中華

オープン日にはテレビでも報道されていた



日曜市のいも天は行列

いも天を揚げる



床はコンクリートの打ち



天井には明り取り

木目をうまく使っている

20日のオープン日昼と22日の夕方の2回視察

3店のレストランと5店の専門店

「道の駅(内食)」「スーパーマーケット(内食、中食)」「レストラン、イートイン(外食)」の共存を見守りたい

第一次産業(生産者)と第三次産業(小売業)の融合が完成した

しかし、イタリアの「イータリー」と比較すれば、「第二次産業(加工業)」が欠けている

ボローニャの「FICO WORLD(3万坪)」はそれができている

さらに広い土地が確保できれば、ファクトリー、体験がプラスされた施設が日本にも登場する日を期待したい

次回は、JA高知のファーマーズマーケットをレポートします

とさのさと「ファーマーズマーケット」



店内レイアウト

くだもの、野菜、魚、塩干、精肉、冷凍肉、加工肉、チルド商品、調味料、酒、カフェなど

吹き抜け天井に照明ルーバーをつけている



明り取り見られる
欧米で見られる生鮮市場と同じだが
欧米は中二階の回廊に外食の施設がある
花売場



彼岸の「さかき」「しきみ」売場は最大級 高知の産物



ニラ、オクラ、ピーマン、生姜は生産量が多い
トマト売場も圧巻



ハーブ類

青パイアヤ

スライサーと一緒に売らないと売れない



乾物売場 下にミニキャリアが収納できるようになっている

魚売場



生鰹 残念ながら、高知産ではなく三陸産

タキも宮城県産



徳島県産ハマチの柵切りをビニール袋で販売

貝類も袋入り



「丸魚は1000円以上に対応」と書かれている

高知産「シマキリ(カツオの小)」

高知産はまだ小さいという



冷凍鯨

意外と鯨は少なかった 冷凍ウツボ唐揚げ用



精肉売場 チルド売場は狭い



地元の牛肉と豚肉

鶏肉は真空パック



牛ステーキもラップ巻きされている
冷凍肉の平ケース



ジビエ イノシシ肉とシカ肉
キジ肉とそのガラスプ



骨付きもも 親鶏
骨付きもも 若鶏



はちきん地鶏

ここまでは、昼の売場
ここからは、夕方 6 時ごろの売場
青果売場



場所を移動してまとめている 鮮魚売場は売り切り



売り切りを徹底している

いいことだ 見事！ 作業所前の氷張りの売場もカラ



惣菜売場も

商品が殆どない これがいい

スーパーマーケットは、ロングライフチルド、冷凍、常温弁当で対応できるが、まだ完成していない



売り切りを徹底している

「まず、商品があること」が重要

常温、チルドで対応できないものは、冷凍で対応

10月1日から「食品ロス削減推進法」が施行される

小売業の何かアクションを起こさなければいけない

次回もファーマーズマーケットのレポートを続けます

とさのさと「ファーマーズマーケット」②



さずが高知 酢飯を売っている

農家の主婦がつくる弁当、丼



弁当

チルド惣菜

これが売り切れる



高知ならではの姿寿司

ちらし寿司

シンプルだがおいしい



寿司盛合せ

チルドデザート



たまごの殻に入ったプリン なんと 200 円 これは買い

和生菓子



こんな洋菓子も

名物の芋ケンピ 最近は塩ケンピが売れている



四万十川の青のり これも買い

ダバダ火振

栗を使った焼酎



馬路村の「ごっくん」

ケース売り



柚子ポン酢

精米所



78CAFE



野菜スムージー

購入したプリン



親切にスプーンがついている

私の扱いが悪く殻が少し欠けてしまった

奥にはカラメルも



りゅうきゅうの酢の物



これがおいしい

蒸し饅頭



手作りの粒あんがたっぷり

緑色は小松菜、黄色はかぼちゃを練り込んだ色

一粒栗まん



大きな栗が栗まんじゅうの上に一個

マロングラッセにも劣らない



四万十川の青のりの乾燥

以上、ファーマーズマーケット

この強力な生鮮市場に対してサニーマートはいかに自店の強さを打ち出しているか

次回はサニーマートの商品についてレポートします

毎日ブログ更新は大変な労力

飛び飛びになりますがお付き合いください

とさのさと「サニーマート」

サニーマートは、高知、愛媛にスーパーマーケット 25 店舗、FC10 店舗を展開

売上高は約419億円(平成 29 年 9 月)

ローソンとの合併会社も設立している



店舗入口

ファーマーズマーケット側に入口を入ると、日配、インスタベーカリー、惣菜の売場が続く



ファーマーズが見えるイートインスペース

購入した商品をここで調査

高知産だけでなく、日本全国からよく商品を集めていることの感心する

惣菜売場の「いも天」

これは丸型



天ぷらではなく、スナック感覚

中はホクホク

「味付け高野」

昔からある高知の名産品



PB商品 贅沢な高野豆腐のサンドイッチ

ピンクの部分は練製品、外は高野豆腐



かにかまのポテトサラダ

かにかまとポテトサラダが一緒になったもの



山口県のメーカー

コンビニのチョコレギサラダの上に載せてみる



これはアリ ドレッシングとの相性もいい
ゴリ漬け



味付けこんにやく
チョコパイリング



ドーナツ状のパイの中にチョコ瓶入り野菜飲料



ケール、小松菜、ブロッコリー、サラダ菜、青じそ、セロリ、ミツバ、クレソン、パセリ、青梗菜など緑色野菜がたっぷり 塩ケンピ



最近話題になっている

店の裏側には「サニーフード」とローソン高知のロゴが



サニーマーケットとさのさとの売場の特徴

- ・青果売場の「有機野菜ボイル」
- ・スープストックキーヨーの冷凍スープは平冷凍ケースで展開
- ・キッチンサポートの「ミールキット」と「パン粉付け商品」
- ・ロングライフの国産牛肉 ロングライフのブロック牛肉も
- ・ローソンの冷凍食品を販売 冷凍食品の品揃えもおもしろい
- ・昼の弁当の温かごはんサービス(対面)
- ・ピーナツバター、アーモンドバター製造機(オーダー制)

以上がこの店の特徴

コモディティグッズの大陳があればなお買いやすいかな

次回は高知の食事をレポートします

高知の食事

同じ日ではありませんが、朝昼晩の食事を紹介します

ひろめ市場で朝食



週末だけ会って朝8時なのにこれだけ人が入っている

ホテルで朝食を取らない人たちだ

定食屋さん

「かつお飯」が気になる

おかず屋さん

ここでお金を払い「たらこ煮」を買う

空いたお皿を返す必要はない



かつお定食とたらこ煮

かつおのに入った炊き込みご飯

おこげも

うまく炊けていておいしい



かつおのたたきは、色からして冷凍のようだ

たらこ煮 これが薄味でおいしい



昼食はホテル近くの定食屋さん
人気があるので予約したほうがいい
開店前の飛び込みで1人だけ空いていた



「HINOTO」と書かれている
地元で有名な店
開店まで公園で待っていると、天使が現れた



今日のランチは、ソースカツレツ、里芋煮、キャロットラペ、ナスのみそ炒め、デザート、コーヒー
値段は1000円+税



パンフレット「ひと手間かけた ひの土のランチ」

楽しみだ

店内の様子

カウンターとテーブル席で15人ほどでいっぱいになる、こじんまりとした店
スタッフは女性2名で切り盛り



カウンターの奥

料理がでてきた

よく見ると「一汁五菜」だ

これは贅沢

造り置きできるメニューをうま組み合わせているので2人でできる



一口とんかつの甘酢かけとなすの炒め物

とんかつの味付けは少し濃いめ

なすの炒めはあっさりとした味



里芋煮と人参サラダ

キャロットラペはデパートのサラダ売場の定番

味噌汁もおいしい

玄米ご飯 それほど硬くない



美味しくいただきました

EMPTY DISHES

野菜が豊富なので重くない

枝豆プリンとコーヒー



二層になっている

下は葛餅風、上はプリン

手が込んでいる 身体にいい食事をいただいた 夜はバーになるようだ

夕食

「須崎名物 鍋焼ラーメン」 薄暗くなっている



ここも開店直後から入店

鍋焼ラーメンのポスター



食べ方の説明「塩柚子味を注文」

土鍋で出てきた 鍋が沸騰している時はこの状態で泡が吹いている



落ち着けばこうなる

シンプルなトッピング 鶏肉、ちくわ、たまご、ニラ

なんと鶏肉は親鳥でいいダシが出ている 少し塩味が強い



味が濃いためライスを追加注文 ラーメンの中に入れておじやにするのもいい

ここはあっさり、たまごとラーメンスープでいただく



EMPTY DISHES

高知は少し味が濃いのが特徴か

近くのホルモン焼屋と経営者は同じらしい



外にアンティークの看板が

懐かしい なくらいなのが不思議

高知の食事を満喫した一日でした

次回はスーパーマーケット3S の一つ「サンシャイン」の商品を紹介します

ストレス、プレッシャーにならないよう飛び飛びブログで申し訳ない

サンシャインの商品研究

サンシャインは、会社概要を見ると、チェーン加盟グループ 10 社 16 店舗の経営、指導及び直営店(16 店舗)の運営 グループ年商 400 億円

サンシャインクリアを視察



600 坪程の大きさ



入口の特売チラシ

店内の様子



フードコート

購入商品

「土佐の田舎寿司」398 円



こんにゃく、なす、たけのこ、椎茸、みょうが、玉子巻、海苔巻、寒天
寒天が入っている寿司は珍しい
皿鉢料理にも入っている

巻寿司の芯 ごぼうと人参は必須

みょうがの味付けもそれぞれの店で特徴がある



土佐の鰹だしところろてん
「純天草 室戸海洋深層水を3%使用」



高知のトコロテンはだし汁に入っている
前はだし汁に入ったソーメンもあったが、今回は発見できず
だしの味が強かったのが好きであった
ニラ仕立てやっこ
「添付の「ニラの具材」をかけて お召し上がりください 本格的な韓国風冷奴をお楽しみいただけます」



充填豆腐の上にニラ味噌がついている

じゃこ天
「みませ見せましょ 浦戸をあけて月の名所は桂浜」



土佐のめた(インニク入り)

「ブリ、ハマチ、しいらやのれそれ・刺身こんにゃく・厚揚げにつけてこじゃんとうまい」



豚まん「味デパ」 久保田食品 「昭和 31 年から親しまれたてきた味」



電子レンジでOK 具もたっぷり入っている

オホーツク おこっぺ 有機ヨーグルト



蒸し饅頭 南国市「へんろいし饅頭山崎」



5 個入り

タンサンの味と香りが懐かしい

以上、サンシャイン クレアの商品紹介

サンシャインクリア店の特徴

1. 説明POPが各部門で多く目立つ
 2. ブドウのアソート いろいろな種類のブドウが丸カップに詰められている
 3. カット野菜のフック陳列 見やすい売場
 4. おつまみ豆腐などこだわり品の品揃えが多い
 5. 生かつおは三陸北部沖産 たたきは静岡県産
 6. アメリカ産の牛肉を積極販売
 7. 第3 マグネットに北海道の酪農品をコーナー化
 8. オリジナル惣菜を販売
 9. 和洋生菓子の品揃えの充実
 10. 信州産のリンゴを使ったりんごバターの大陳
- 感想は、マグネット売場の役割を考えられる
今回は、3Sの「サンプラザ」の商品を紹介します

高知サンプラザ

高知サンプラザは、ホームページによると、高知県内に 8 店舗のスーパーマーケット、業務用スーパー4 店舗、ホームセンター2 店舗、レストラン、喫茶 2 店舗を展開

売上高は、132 億円(2018 年3月期)

サンプラザ鴨部店の商品研究



道を挟んだ反対側にCOOP
近くにはサンシャインも出店し、競争の激しい地域



店内の様子
購入商品の「田舎寿司盛合せ」 398円



内容

巻寿司も手が込んでいる
玉子巻はチラシ寿司 海苔巻は鯖入り



いも天



紙袋を使っているため、時間が経っても衣はサクサク
げんこつ唐揚げ バラ販売



鶏モモ肉を使用 肉は柔らかく、外はサクサク
カップ入り日本蕎麦 166円と安すぎる



電子レンジ対応

鯨カツ 鯨肉を使ったミンチかつ



鯨を知らない世代は少し抵抗があるかも

地元メーカーのあんぱん



あんがたっぷり入っている

にんにくみそ



安納芋ようかん」



メーカーの住所は岐阜県

以上、サンプラザの商品の紹介でした

夕方6時以降に入店

1. リンゴの糖度と硬さのPOPが印象的
2. 鮮魚売場の刺身などは売り切りを徹底
3. 夕方であるため、生鮮食品は品薄だが、惣菜は豊富
4. 惣菜の品揃えはよく、売り込み商品がはっきりしている
5. 常連客風の客が多い店

感想は、常連客を逃がさない対策が必要と感じた

以上、高知のスーパーマーケット3Sの商品紹介は終わり

どこもこだわり過ぎ感あり

コモディティグッズの量販などもっとシンプルな商売ができないのかな

次回からは、高知の歴史的有名人物の研究を行います

土佐さんぽマップ

十分歩ける範囲だ



途中まではヤシ系並木



途中から広葉樹並木に変わる

高知城

1601年(関ヶ原の戦い後)、山内一豊が土佐に入国し浦戸城を居城とする

大高板山に高知城築城を開始

戦国時代のお城ではないので一度も戦ったことはない



山内一豊の像

1545年生まれ、13歳で時尾強国(愛知県)岩倉城主

1600年の関ヶ原の戦いの功績により、土佐一国24万石を与えられる

長曾我部氏は土佐を追放されその後没落する



お堀の蓮の花

「追手門」

門前は枡形になっている

これはどこの城も同じ造りだ



石垣と門柱の間はコンクリート

野面積みの石垣

石垣は近江の「穴太衆」によるもの



「板垣退助像」

自由民権運動を唱えた政治家

お札にもなった

奥に天守閣が見える

なにこれ？

石樋(いしとい)



雨の多い土佐ならではの設備

石垣から飛び出したといで排水を行っていた

城内で16カ所確認できるという

下は滝つぼの様になっていたという

排水施設もしっかりしている



山内一豊の妻と馬の像

名馬の逸話

ある日、馬売りがすばらしい馬を連れて来たが値段が 10 両と高く、一豊には買えなかった
そこで、妻の千代が嫁入りの時に親が持たせてくれた 10 両をさっと差出欲しい馬が買うことができた

信長は「見事な馬じゃ、どうやって手に入れた」と一豊に尋ねると、

「妻の持参金で買いました」と答えた

一豊は信長に信用され可愛がられた

妻千代は「武将たちが認める名馬を披露すれば、必ず信長の目にとまり、今後の扱いも変わってくる 10 両は安いと思っていた」

内助の功 いい話ですね

男は妻によって器が決まるような気がする



本丸が見えてくる

外観四層(内部 3 層 6 階) 高斎 18.5m

石落としも見られる

天守閣



歩きづらい石階段

登りづらきが、上からは降りやすい構造になっている

高知城懐徳館入口



功名が道 一豊と千代
書院造で畳が貼られている



上段の間と台帳構え
上段の間の左側の施設



上段の間の左の「台帳構え」
左側の施設は、裏が納戸になっていて、藩主護衛の武士が隠れていたことから「武者隠し」と呼ばれた
裏に回ってみると、こんなスペースが



高知城のジオラマ

一県星型の石垣にも見える



石垣の積み方

ボランティアの説明では、雨に弱い土佐では石灰岩は使われていないという
山内家の門「三つ葉柏」これが三菱商会(後の三菱商事)のマークとなった



天守閣 破風がある方が正面



長曾我部時代は逆が正面であったと言われている

高知市内



かなり高い

破風の裏側はこうなっている



説明するボランティアと1時間余り熱のこもった話をさせていただく

内容は、私の故郷信濃国(長野)と甲斐の国(山梨県)と土佐との関係

・長曾我部は、信州信濃から来た秦氏(はたうじ)一族 (高知県立歴史民俗博物館資料より)

・「板垣退助」の先祖は、甲斐の国出身と証拠の文章見せてくれた

ボランティアや学芸員の持っている分厚いファイルを開かせないと本当の情報は出てこない

・それでは、「岩崎家も甲斐の出ではないのですか?」と尋ねると

ボランティアは「初耳です」と答えた

岩崎家の家紋「三層菱」は武田菱からきているという話は聞いたことがあるが、確証はない

岩崎弥太郎の生家にもしボランティアがいれば聞いてみたいと思う



お城に関してはあまり詳しくないが、「点と点を結びつける仕事」は私は得意の方だ

梅の段 馬場のあった場所は、今は梅苑になっている

一時期は遊園地であったという



さるすべりの花
高知城を後にする



次は、安芸の「岩崎弥太郎の生家」を紹介します
岩崎家は甲斐の国の出なのか？
三菱のマークは武田菱からきているのか？
聞いてみよう

安芸市の「岩崎弥太郎の生家」
広島から友人が車で駆けつけてくれた ありがたい
高知は横に長いので車がないと不便だ
高知市内から室戸岬方面の安芸市に向かう
安芸市の案内板



岩崎弥太郎の銅像 手前には日本地図が見える
周りの風景
生家の付近は里山になっている



三菱商事の創業者

生誕 150 年を記念して建てられた

2020 年は三菱創業 150 年(九十九商会から 150 年)

岩崎弥太郎は 1854 年に安芸に生まれる

1867 年、幕令により長崎の「土佐商会」に赴任

坂本龍馬の「海援隊」を財政面から支援した

「亀山社中」は薩摩の援助であった

1873 年、弥太郎は

「断然官界に志を断ち、商法をもって身をたてる覚悟」で経済界に身を投じた

ちよんまげ、刀を捨ててそろばんに持ち替えた

「吉田東洋」の影響が大きかったと言われている

「ジョン万次郎」に英語を教わっている



駐車場に車を置き生家に向かう

学芸員かボランティアの方が案内してくれる

いてくれてよかった



生家の入口

移築してはいるが当時の趣が残されている



左奥が土蔵

玄関の脇にもう一つの玄関



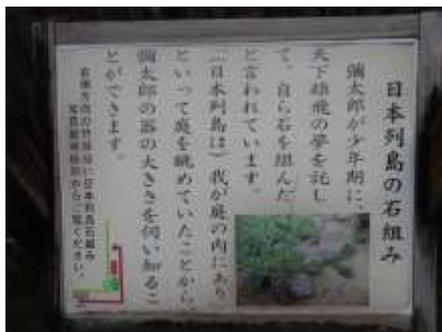
家族と来客用の玄関が分かれている

建物内部は撮影禁止だが、玄関から撮らせていただいた
上がり廊下の下は室になっていて、野菜などを保管していた
家畜小屋はない



有名な庭の石

日本列島の形をしている



弥太郎が少年期に「天下雄飛の夢」を託して、自ら石を組んだと言われている
屋根瓦の「三段菱」が見える



岩崎家の家紋「三段菱」と、土佐藩主山内家の家紋「三ツ葉柏」を組み合わせ「九十九商会」の
船旗号がつけられた

それが現在の三菱のマークになった
猫が寝ている

のどかだ

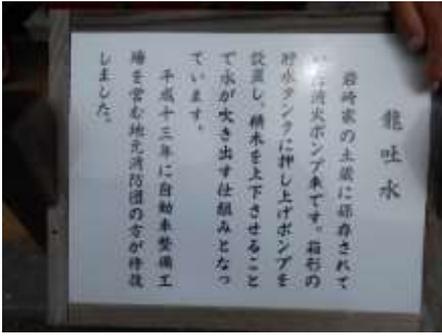


火災ポンプ車



国産メーカーだ

岩崎家の土蔵に保存されていたものを、自動車整備工場を営む地元の消防団の方が修復した
それにしても個人宅で消防車を所有しているのはかなり豊であった



土蔵の壁に「三菱のマーク」が見える
不思議な壁だ

四国は雨が多いため、土壁がカビて黒く変色してしまうことがある
そこで壁に雨がつかないように壁に屋根を付けたもの



下から見ると段差がある
角部分もシャレている



最後に疑問に思っていたことを聞いてみる
最初に出したファイル
これはすでに知っていること



もう一枚資料を見せてくれた

右上に武田菱

学芸員かボランティアかは分からないが、
「岩崎家は甲斐武田の出だ」とはっきり言う

これが聞いて満足

昔は四国は「島流し」の場所

今でいう「政治犯」が多く流された島

豊か過ぎて島流しの効果がなかったが

極悪犯は佐渡や伊豆大島など小さな島に流された

逆に信州などに「山流し」もあった

ここでも1時間ほど話をする

丁寧に説明してくれた



岩崎家の管理している隣の家にも「三段菱」

キレイに管理されている生垣に「彼岸花」が一本
いい時期の来ることができた



最後に「観光客はよく来ますか？」と聞くと
「最近では三菱関係の方が多いです」という
できる社員はここが違う
帰りに注意して家屋を見ると、確かに壁が違う
ぼーっと見ていると気づかない

桂浜の「坂本龍馬記念館」に向かう
ダラダラとブログを書いていたら、フランクフルトに行く日が近づいてしまった
「坂本龍馬」も「ジョン万次郎」も「四万十川の天然うなぎ」も書かなくては
次回は、高知の名物料理を紹介します
ドイツ特集はその後になります

桂浜
台風の影響で波が荒い



桂浜の「坂本龍馬記念館」の隣のホテルで昼食



メニューを見ると普通の定食が主であった

桂浜が見える場所



刺身定食と鯨鍋を注文

刺身定食はどこにでもあるもの

いたって普通



鯨鍋 赤身と脂身

これは正解

鯨独特の臭いも少ない

残り汁にご飯を入れて「雑炊」をつくれればよかったと後悔している



夕食はホテル近くの「土佐鶏専門店」へ
日曜日なので営業している店が少ない
電話で予約しておいた



店内の様子
まだ時間が早いですが、後から満席になる 人気店だ
まずは「ささみの湯引き」



鮮度がいい

生レバーと生ハツ



さっと湯通ししてごま油を絡めてある これは珍しい
生砂肝



キレイにカットされこれも鮮度がいい
野菜サラダ ここまではすべて生食



鳥鍋



土佐鶏の鍋

ここでは最後に雑炊をつくる

鶏の鮮度がいいだけでなく、自家製のタレがおいしかった

焼鳥は注文しなかった

どうもメニューが偏ってしまう



「鯨鍋」と「鶏料理と鶏鍋」の一日であった

帰りに近くのバーで、スコッチ「GLENLIVET12年」をストレートで一杯飲んで帰る



帰りの路上で

客の目を見て、感じたことを色紙に書いてくれるというのでお願いした

サラサラと筆が進む

文章の中に相手の名前の文字が組み込まれている

縁起物として持ち帰り飾る



今回は桂浜の「坂本龍馬記念館」を紹介します

桂浜「坂本龍馬記念館」

安芸の岩崎弥太郎生家から桂浜「坂本龍馬記念館」へ



台風の影響で波が荒い

坂本龍馬の像



維新の門(ビデオより)



坂本龍馬の功績は「薩長同盟」と「大政奉還」

若い龍馬一人でやったわけではない

バックに大物がいたはずだ

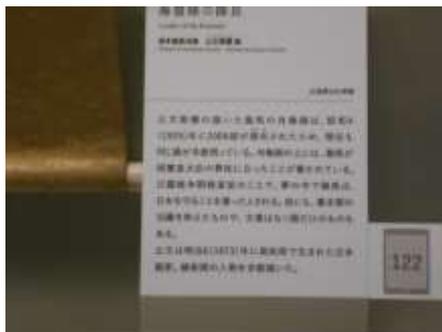
誰なのか

龍馬が関係した「亀山社中」「薩長同盟」「海援隊」「船中八策」「大政奉還」
「新しい日本の礎を築きながら、時代の夜明けを待たずに倒れた坂本龍馬」
33歳で他界しているため、明治維新も知らない 早すぎる死であった
だからドラマになる



館内の展示物

龍馬の肖像と影響を与えた人々



「海援隊の隊長」

勝海舟の弟子時代



土佐藩を脱藩した龍馬は、江戸で勝海舟と出会い弟子入りした

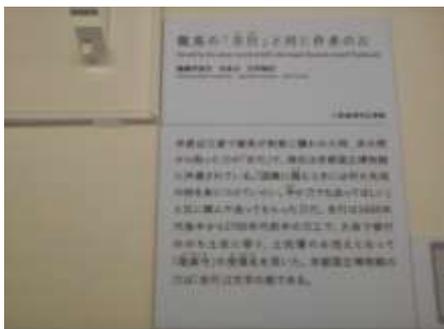
勝海舟に会ったことで、龍馬のその後の人生が大きく変わった

龍馬が持っていたピストルと同型の物



名刀「吉行」

同じ作者のもの



龍馬が亡くなった「近江屋」のジオラマ

坂本龍馬と中岡慎太郎が亡くなった部屋

最近の説では「新選組」ではなく「京都見回り組(旗本の集団)」だという

新選組の「近藤勇」は、「鳥羽伏見の戦い」の後捕まり、拷問にかけられたが関連はなかったようだ



龍馬の返り血がついている掛軸

坂本龍馬と中岡慎太郎の銅像



幕末の始まり

泰平の眠りを覚ます蒸気船

尊王攘夷の高まり



幕末土佐藩の政治状況

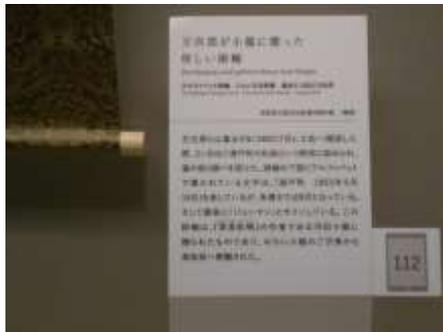
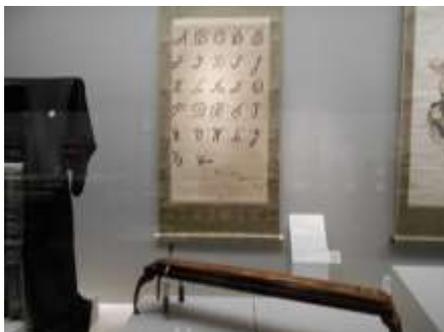
山内容堂と吉田東洋

ジョン万次郎の掛墊

同行者は 21 のアルファベットではなく、22であることを発見

一文字多い一番最後の意味は？

ジョン万次郎記念館で聞く予定



1852年7月に土佐に帰国した「ジョン万次郎」

河田小龍に送った掛墊「ジョンマン」のサインがある

ジョン万次郎の展示場

ジョン万次郎は、岩崎弥太郎、後藤象二郎、板垣退助との接点はあるが、

坂本龍馬との接点はなかったようだ

これも学芸員に確認したが、それらしき証拠はないという

江戸ではジョン万次郎と勝海舟は浅草の「やっこ」でよくうなぎを食べていた(ブログでも紹介した)

残したうなぎのエピソード

<https://ameblo.jp/shirocasi/entry-12391310392.html>



今回は、足摺岬のジョン万次郎の銅像の左手に持っているものの確認

万次郎の生家と記念館をレポートします

四万十川の「天然うなぎ」も食べてきました

高知市内から足摺岬に向かう

車で4時間もかかる 遠い



海がキレイだ



足摺岬 奥に像が 土佐偉人銅像案内図



その中に「吉田茂」(南国市物部)

1878年宿毛出身の自由民権運動の闘士「竹内綱」の五男として東京都千代田区に生まれる
51代内閣総理大臣「サンフランシスコ講和条約」を締結
ジョン万次郎の像



左手に持っているものが気になる

三角定規とコンパスであった



中の浜

万次郎は苗字を持っていなかった

後に「中の浜」の名前を取って「中浜万次郎」となった



中の浜の生家近くの記念碑

防波堤に貼られている万次郎物語

漫画になっているため分かりやすい



1827年生まれ 14歳で足摺沖で初魚中

1841年 足摺沖で遭難



7日間漂流し九死に一生を得て、伊豆七島の無人島「鳥島」に5名が漂着

143日間の無人島生活

海藻や海鳥を食べて生きながらえる



米国の捕鯨船に救助され、ホイットフィールド船長の保護を受ける

ジョン・ホーランド号の生活が始まる
「ジョン万次郎」と呼ばれるようになった



1842年 ホノルルで仲間と分かれ、万次郎一人捕鯨船員として太平洋の乗り出す

船長ホイットフィールドと万次郎との生活が始まる



1841年～1850年

10年間米国本土で小等教育、中等教育を受け、英語、数学、航海、造船等高度な学問を習得
誰が資金を出したのか？

1851年 沖縄本島に上陸



1850年 ニューヘッドフォードに戻る

ここには書かれていないが、船長の家を出てカルフォルニアの金鉱で帰国資金を溜める

1850年 ハワイにいる仲間と日本に帰るための話し合い



1852年 11年10カ月ぶりに母と再会

1870年 43歳の時にフェアヘブンを訪れ、ホイットフィールド船長と奥さんと再会



万次郎は日本で初めて英語の先生になる

ドラマチックな人生だった

生家へ向かう細道



案内版
再建された万次郎の実家



建て替えられたもの
無人だが、当時の生活の様子が分かる



土間
中の浜の海岸



ジョン万次郎資料館へ向かう

ジョン万次郎ミュージアム

高知県土佐市水市養老303

2018年にリニューアルオープンしている

「ビビる大木」が名誉館長



この施設には、ボランティアや学芸員はいないのが残念



館内の様子

漂流中の苦労話



鳥島での苦労話

雨が降らず、自分の小水を飲んで水分を補給してしたが、それもでなくなったという

波を再現した演出



万次郎の残したもの

新事実！

ジョン万次郎？ 未公開写真発見



船長と東洋人らしき人物が映っている
似ていると言えば似ているが

当時の帆船



アメリカの捕鯨

船上で鯨の脂を大きな鍋で煮て絞り樽に詰めている写真
機械の潤滑油などの使われていた



土佐の捕鯨
鯨は捨てるところがなかった

高知で生まれた漂流記



土佐藩士となった万次郎
教授館での英語指導

黒船来航



以前に紹介した「ペリー来航記念館」
ジョン万次郎はスパイ容疑をかけられ通訳をすることはなかった
双方オランダ語通訳を介しての会談であった

<https://ameblo.jp/shirocasi/entry-12490060301.html>

帆船から蒸気船へと変わっていった

アメリカの船会社のプライベートシグナル(旗)



アメリカ マサチューセッツ メドフォードにある「ジョン万次郎記念館」



契約書

ブログでも紹介した

アメリカ マサチューセッツ州メドフォード「ジョン万次郎記念館」

<https://blog.ameba.jp/ucs/entry/srventryupdateinput.do?id=12387982079>

坂本龍馬、後藤象二郎、岩崎弥太郎



勝海舟、後藤象二郎、福沢諭吉

万次郎が書いた掛軸の最後のアルファベットの答え



関係者に聞くと

「&」ではないかという

ジョン万次郎の10年にも及ぶアメリカ滞在費と学費は誰が負担していたのか？

万次郎は「アメリカ国籍」を取ってアメリカ人になる気はなかったのか？

ペリーの黒船には日本語の通訳はいなかったのか？

私の勝手な推測だが、アメリカ人の誰かは分からないが、万次郎を通訳として黒船に載せたかったのでは？

32代大統領フランクリン・ルーズベルトの祖父ワレン・デラノは、
万次郎を救ったホイットフィールドの船長の船会社のオーナーと親友であった
デラノは教会で時々万次郎をと会っている

後から分かった事 これは驚き！

ペリーが乗っていた戦艦「サスケハナ号」には日本人が乗っていた！



やはりアメリカは日本人通訳を探していた

その名前は「仙太郎」

1850年、乗船していた栄力丸が遭難した

アメリカの商船に救助される

1年アメリカに滞在し、仙太郎一人がサスケハナ号の船員として浦賀に寄港

しかし、処罰を恐れた仙太郎は下船を拒否し通訳をすることは無かった

後に帰国

シンガポールの「音吉(イギリス国籍を取得)」も遭難者であった

以上、ジョン万次郎の足跡を追う特集は終わり

今回は、「足摺の鯖丼」と「四万十川のうなぎのかば焼き」を紹介します

地方の名物料理を紹介するのも私の仕事

足摺黒潮市場



よくある直売所

奥がレストランになっている



「朝獲れの絶品 清水さば ぶっかけ丼」が目玉

大分側で獲れたさばはブランドさばの「関サバ」 こちらの港にあがるさばは「清水さば」というらしい 同じものだという

もう一品「タルメのあら炊き」



港のすぐ前

さばのぶっかけ丼定食



中央の自家製たれをかけていただく
だしは四国だけあって甘めだが、さばとよく合う
身はまだ柔らかい

タルメのアラ炊き



梅干しとわかめが入っている
薄味の味付け

EMPTY DISHES



タレは市販されていた
冷蔵であるため、保冷剤、保冷袋で丁寧に包装してくれた
あるスーパーでこのタレで「鯛のぶっかけ丼」をつくる
大好評であった

四万十川の景色



うなぎで有名な「四万十屋」

入口のメニュー



メニューには天然うなぎと養殖うなぎと書かれている

ここまで来て養殖ウナギはないだろう

もう来られないかもしれないし、天然うなぎも食べられないかもしれない

土産物売場



うなぎの水槽

サイズが小さい

2階から見る四万十川



メニューの「川海老の唐揚げ」と「ごりの唐揚げ」はおさえておかねば
そば、うどん、うなぎちまきも興味がある



天然うなぎを注文
豪華四万十川料理 青のりの味噌汁の他にうなぎの肝、中骨、なますもついている



手長エビの川海老唐揚げ 藻塩で ごりの唐揚げ これも塩で



天然うなぎのかば焼き

蒸しは加えず、焼きは二度焼のようだ
サイズが小さいため、2尾分入っている



けっこう身も厚く、皮がプリプリしている
タレが多いのも特徴
満足 満足
ここでも、EMPTY DISHES
食べ過ぎ



夜食は軽く屋台で、おでんとラーメン



手前のピンクのかまぼこは高知名産

厨房を覗くと野菜スープが



あっさりとした醤油ラーメン
最近はや味の薄い野菜だしのラーメンにはまっている

高知の名物料理を堪能できた
それにしても、食べ過ぎ傾向あり
明日は高知空港から羽田空港に帰る予定

高知空港
午後の便で羽田に戻る



馬路村ブランドの展示
村おこしに成功した
雨に訪れたことがあるが本当に小さな村

空港の展示物



坂本龍馬の像

勝海舟

龍馬が影響を受けた人物



岩崎彌太郎

食堂で「たまごかけご飯」をいただく

ごはんと漬物と生卵だけのシンプルなメニュー



黄身が割れてしまった

メニューには「土佐ジロー」と書いてあったか「はちきん地鶏」と書いてあったか覚えていないが、ブランド鶏の玉子であることは間違いない



タレを少しかけ過ぎた

料理を待っている間に、本売場でこんな本を見つける

「麒麟ビール高知支店の奇跡」



少し前の本だが 22 万部突破

アサヒビールの「スーパードライ」に対し「麒麟ラガービール」で対抗し、首位を奪還したという話
小売店ではなく飲食店の営業を強化した
今の状況は分からない

ひろめ市場



入口のポスター

麒麟ビールを創業したのは、弥太郎の弟の弥之助

空港内の販促物



「麒麟ラガービール たっすいがは、いかん」

「薄いビールはいかん」おいう意味らしい



売店の缶ビール

アサヒスーパードライ4フェース、キリン一番搾り4フェース

アサヒの方が右側に陳列されている

キリンビールのマークには「キ」「リ」「ン」の文字が隠されている



ヒントは麒麟のたてがみの部分

ネットで調べないで自分で探してみてください

岩崎弥太郎、弥之助関連でキリンビールの宣伝が多くなってしまった

次は時間をつくり、松坂の「三井家」と「三井物産」の関係も調べてみたい

たまごかけご飯だけでは足りず



きつねうどんも

食べ過ぎ

「塩けんぴ」「ダバダ火振」



お土産に「鯨の燻製」を購入

これで7月から続いた四国4県を回ることができた

長〜い、長〜いブログに付き合っていたいただきありがとうございました

秋からはヨーロッパシリーズです

今、フランクフルトからフランス リヨンに来たところです

続いてドイツ、フランスをレポートします